

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会青少年支援室	はたちの集い開催事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「はたちの集い」を通じて若者が松江の魅力を認識し、興味・関心を抱くことで地域への愛着を深めることにより定住促進や関係人口増につながるような機会とする。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	出席率（%）	70.18	85	85	85	
	目標（何を達成するのか）					
	「はたちの集い」開催について広く周知し、参加の促進を図る。					

事業概要	<p>※令和4年度より式典の名称を「成人式」から「はたちの集い」に変更して実施。</p> <p>○開催日：1月（成人の日を含む3連休の中日に開催）          ○対象年齢：当該年度に20歳を迎える方          ○対象者数：約2,000人          ○企画立案・運営：当該年度対象者を中心に、一般公募により選出した委員で組織する実行委員会が行う。          ○内容：大人としての社会的責任・自覚を促すとともに、地域への愛着心の醸成を図り、定住促進や関係人口増につながるような場となるよう実施する。</p>
------	--

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<p>「はたちの集い」の開催（R5.1.8開催 会場：くにびきメッセ）            新型コロナウイルス感染症対策として、午前・午後に分けて開催。            出席者数1,450人 出席率70.18%</p> <p>・はたちの集い実行委員会の開催（7回）            実行委員11名 ※市報や市HPなどを通じて公募を行い、委員を選出。            ・松江の観光体験施設やカフェなどの情報を掲載したパンフレットを作成。            ・会場内でパンフレットや防災メール登録、消費生活等に関するチラシ・冊子を配布。            ・松江青年会議所や市内各企業から運営や協賛の協力を得て実施。            ・地元や全国で活躍する著名人のビデオメッセージを上映。記念撮影スポットなど出席者が楽しみ、交流できる企画を実施。            ・市HPで出席者へのお祝い品を募集。            応募のあった企業（1社）よりお菓子の提供あり。</p>	<p>「はたちの集い」の開催（R6.1.7）            ・はたちの集い実行委員の募集（4月～6月）            ・はたちの集い実行委員会開催（7月～12月 月1回）            式典等の企画・運営方法について意見交換を行い、決定。            ・市内各企業、松江青年会議所等の団体に対し協力・連携の依頼。</p>	<p>「はたちの集い」の開催            ・はたちの集い実行委員の募集（4月～6月）            ・はたちの集い実行委員会開催（7月～12月 月1回）            式典等の企画・運営方法について意見交換を行い、決定。            ・市内各企業、松江青年会議所等の団体に対し協力・連携の依頼。</p>
	達成度	2 計画目標に向かって概ね順調	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	3,528	3,504
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	3,528	3,504
歳入合計		3,528	3,504

課題	「はたちの集い」が定住促進や関係人口増を図る機会となるよう企画を構築し、実施する必要がある。	方向性	「はたちの集い」が定住促進や関係人口増を図る機会となるよう市内各企業や松江青年会議所等の団体からの意見を参考に、実行委員会で企画、運営方法を検討して進める。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	はたちの集い開催事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～6月	実行委員募集		
	7～12月	実行委員会の開催		
	1月	はたちの集い開催		
	2～3月	振り返り（事業報告）		

本事業に関する主要データ

【令和5年松江市はたちの集い】



式典開催状況



実行委員会活動状況



はたちの集い実行委員



はたちの誓い

開催年	令和3年	令和4年	令和5年
開催日	11月21日（日）	1月9日（日）	1月8日（日）
会場	くにびきメッセ		
開催方式	2部開催（午前・午後）		
出席者数	800人	1,420人	1,450人
出席率	39.21%	68.66%	70.18%

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	55		
役務費	349		
委託料	3,100		
事業費計			3,504

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	UIターン促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	UIターン希望者に対する支援や松江市の縁者への情報発信を行うことにより、松江市へのUIターン促進を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		市への相談対応件数（件）	135	100	100	100
	目標（何を達成するのか）	市のサポートにより定住した人数（人）	47	15	15	15
UIターン者の増加						

**事業概要**  
 松江市へのUIターン希望者に対する相談対応、県外でのUIターンフェアにおける出張相談の実施により、UIターン者の増加を図る。また、UIターン相談登録者や松江市の縁者に対して定住に関する情報発信を行い、将来的な松江市へのUIターンを促す。

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	島根県主催の都市圏へ出張しての移住相談会に参加予定。オンラインイベントも引き続き積極的に参加していく。Zoomなどを活用した移住相談にも個別に対応していく予定。	引き続き移住相談会などに積極的に参加していく。	引き続き移住相談会などに積極的に参加していく。
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		5,875
	国・県支出金		491
	地方債		
	その他		0
	一般財源	0	5,384
	歳入合計	0	5,875

**課題**  
 他市町村に比べ、移住に関する支援メニューが少ない中で、「松江市」を選んでもらえるプロモーションをどのように行っていくかが課題。就業支援コーディネーターによる、企業と就職希望者とのマッチングも積極的に行っていく。

**方向性**  
 今後も 県及びふるさと島根定住財団等と連携を深め、本事業や就業支援事業を継続的に実施する。

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	UIターン促進事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	随時	移住相談	10月	東京移住イベント
	5～6月	オンライン移住イベント	11月	東京移住イベント
	7月	大阪移住イベント	12月	オンライン移住イベント
	8～9月	オンライン移住イベント	2～3月	オンライン移住イベント

本事業に関する主要データ	
令和4年度移住相談件数	
相談件数合計	<b>135件</b> Web相談会・・・件、ワンダーランド・・・件
相談カード登録件数	<b>117件</b> 登録件数・・・人(.....)
<b>R5</b> 移住予定件数	<b>13件</b> (内協力隊 件、CCサポ 件、その他 件)
<b>R4</b> 移住済件数	<b>47件</b> (内協力隊 件、CCサポ 件、その他 件)
<b>R3</b> 移住済	<b>21件</b> 内助成金手続問合せ等 件

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	3,619		
職員手当等	588		
共済費	704		
旅費	774		
需用費	28		
役務費	129		
使用料及び賃借料	33		
事業費計		5,875	

# 令和5年度 総合計画実施計画

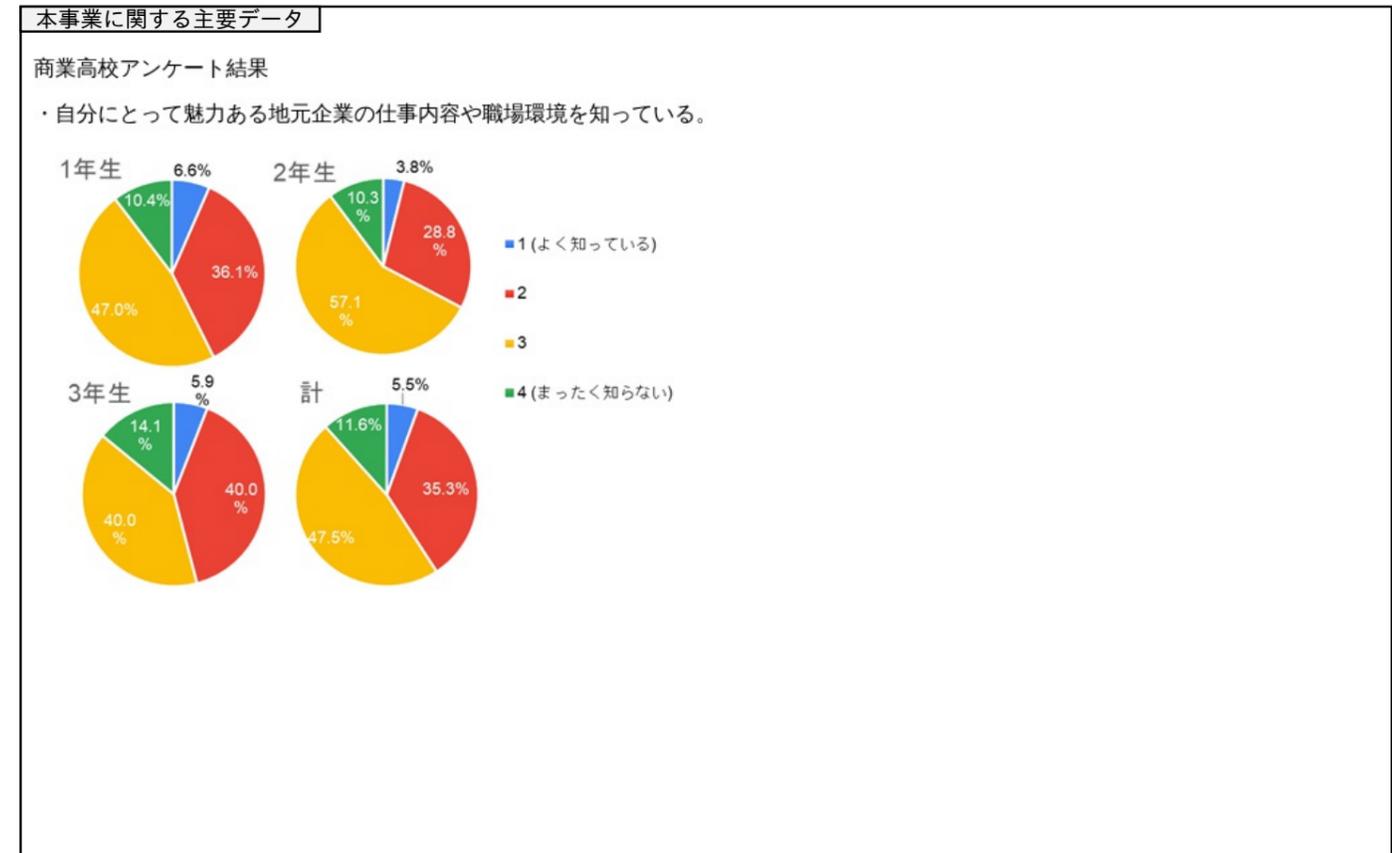
所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	高校魅力化コンソーシアム運営マネージャー配置事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	高校魅力化コンソーシアム運営マネージャー配置事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	高校時代から地域や地元とのつながりを作ることにより、将来的なUターン志向の増加を促し、松江市への定住を視野に入れるとともに、居住地に関係なく地域の活性化に貢献したいと思う高校生を増やす。	項目（成果指標） 地元企業の仕事等を知っている生徒（%）	R4実績見込 40.8	R5計画 80	R6計画 80	目標値 80
	目標（何を達成するのか）					
	自分にとって魅力ある地元企業の仕事内容や職場環境を知っている生徒の増加。 将来、居住地に関係なく松江市の活性化に貢献したいと考える生徒の増加。					

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	コンソーシアムマネージャー配置		

事業概要	(数値目標の目標年度) 項目名 地元企業の仕事内容や職場環境を知っている生徒の割合【対象生徒へのアンケート】：2029（R11）年度 松江市内2つの県立高校をモデル校とし、高校魅力化コンソーシアム運営マネージャーを配置することで、地元の産業や企業への理解を深めたり、卒業生ネットワークの構築を図る取り組みを推進する。
------	--



事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	島根県立松江南高校 1名 島根県立松江商業高校 1名 高校魅力化コンソーシアム運営マネージャー配置 学校・生徒と地元との連携を強化する取り組み及び、卒業生のネットワーク構築を行う。	引き続きモデル校2校に運営マネージャー配置し、学校・生徒と地元の連携強化や卒業生のネットワークづくりを行う。	引き続きモデル校2校に運営マネージャーを配置し、前2年間の実績を生かしながらネットワークの構築を進めていく。
	達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		6,819
	国・県支出金		5,070
	地方債		
	その他		0
	一般財源	0	1,749
歳入合計		0	6,819

課題	将来的なUターン志向の増につながる、地元で働く若年社会人や地域で活躍する人との接点づくりを強化していかなければならない。
方向性	モデル事業であり、市内では他に例がないことから、最初の1年間は市や学校が主導しながらマネージャーを育成していく。

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	4,830		
職員手当等	715		
共済費	925		
旅費	180		
役務費	50		
使用料及び賃借料	119		
事業費計		6,819	

# 令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
政策部政策企画課	MATSUE DREAMS 2030推進費・ミライソウゾウ会議・MATSUEミライソウゾウプログラム

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	夢を実現できるまち推進事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市総合計画「MATSUE DREAMS 2030」に掲げた将来像「夢を実現できるまち 誇れるまち 松江」の創造にむけて、5つの基本目標、18の基本施策を掲げ取り組む。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		出生数（人） ※R3からの累計値	2,923			9,000
	目標（何を達成するのか）	社会増減（人） ※R3からの累計値	-607			1,300
・各施策の徹底した評価と見直しを進めるため、総合的な調整を行う。 ・若者の主体的なまちづくりへの参画を促し、本市への愛着を深める。 ・総合計画をベースに授業プログラムを作成し、小中学校で活用する。	松江に愛着を持つ高校生・学生の割合（%）	63.8	67.0	68.0	75.0	

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	総合計画実施計画策定（R5～7年度）	8-3月	ミライソウゾウ会議
	4-6月	MATSUEミライソウゾウプログラム案の検討	9-10月	市民アンケート
	7-12月	MATSUEミライソウゾウプログラムのモデル実施		
	9月	総合計画審議会		

事業概要	【MATSUE DREAMS 2030推進費】 ・外部委員で構成する「松江市総合計画審議会」を開催し施策の検証を行うとともに、各施策の検証・見直しのための基礎資料として、市民アンケートを実施する。
	【ミライソウゾウ会議】 ・総合計画の策定時から実施している「ミライソウゾウ会議」を、コミュニティ形成とアイデアの実践に向けた学びの場として引き続き開設する。
	【MATSUEミライソウゾウプログラム】 ・総合計画を素材に、松江を知り、まちづくりへの興味と関心を高める講座「（仮）MATSUEミライソウゾウプログラム」を作成する。
	（目標値の目標年度） 出生数（人）・社会増減（転入-転出）（人）：2025（R7）年度（2021（R3）～2025（R7）年度の5年間で目標として設定） ※2021（R3）年度に見直しを行い、以降は5年おきに目標となる数値を設定 松江に愛着を持つ高校生・学生の割合（%）：2029（R11）年度

本事業に関する主要データ

### 松江に愛着を持つ市民の割合

【令和4年度 松江市まちづくりのためのアンケート】  
(n=4,123)

対象者	とても愛着を感じている	愛着を感じている	どちらかと言えば愛着を感じていない	愛着を感じていない	分からない
市民 (1,164)	19.6%	60.5%	9.1%	4.0%	6.8%
大学・高専・専修学校生 (317)	12.9%	41.3%	15.8%	9.8%	20.2%
高校生 (1,099)	15.4%	51.1%	9.1%	7.5%	16.9%
中学生 (1,543)	18.6%	51.8%	10.0%	4.1%	15.6%

※数値目標：松江に愛着を持つ高校生・学生の割合  
大学・高専・専修学校生、高校生の（とても愛着を感じている人数+愛着を感じている人数）/大学・高専・専修学校生、高校生の回答者数

令和4年度のミライソウゾウ会議の様子

MATSUE DREAMS 2030

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	・松江市総合計画実施計画の策定（R4～6年度） ・総合計画審議会の開催 ・まちづくりのための市民アンケート（市民・学生・高校生・中学生）の実施 ・ミライソウゾウ会議の開催	・松江市総合計画実施計画の策定（R5～7年度） ・総合計画審議会の開催 ・まちづくりのための市民アンケート（市民・学生・高校生・中学生）の実施 ・ミライソウゾウ会議の開催 ・（仮）MATSUEミライソウゾウプログラムの作成	・松江市総合計画実施計画の策定（R6～8年度） ・総合計画審議会の開催 ・まちづくりのための市民アンケート（市民・学生・高校生・中学生）の実施 ・ミライソウゾウ会議の開催 ・（仮）MATSUEミライソウゾウプログラムの活用
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	6,527	10,486
	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	3,526
	一般財源	6,527	6,960
歳入合計		6,527	10,486

課題	・総合計画に掲げる将来像を市民・民間事業者と共有し、その実現に向けそれぞれの立場で行動するために、策定した計画を広く周知し、浸透させていく必要がある。 ・ミライソウゾウ会議への参加をきっかけとして若者を地域活動へ繋げる。 ・小中学校においては、既に年間での授業スケジュールが組まれていることから、各校に無理なく導入してもらえるよう、プログラムの内容を工夫し、教員の負担軽減も図る必要がある。	方向性	・計画に定めた数値目標及び重要業績評価指標（KPI）により各担当部署で施策の評価検証を行うとともに、外部委員で構成する「松江市総合計画審議会」の意見を踏まえ、効率的・効果的な施策の展開に繋げていく。 ・総合計画策定時から開催しているワークショップ「ミライソウゾウ会議」を継続実施し、「夢を実現できるまち」の創造に向けた若者のまちづくりへの参画を促していく。 また、総合計画をベースとする講座「（仮）MATSUEミライソウゾウプログラム」を作成し、小中学校での活用を図る。
----	---	-----	---

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	177		
需用費	606		
役務費	182		
委託料	9,521		
事業費計		10,486	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	テレワーク・デイズMATSUE事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	松江推しは世界中にいる
	主要施策	テレワーク・デイズMATSUE事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地域とのコミュニケーションを通じて関係人口を増やす「松江式ワーケーション」を、都市部の企業に訴求し、将来の移住・定住につなげる。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）	松江式ワーケーションに参加した人数（人）	57	30	30	30
	1) 松江式ワーケーションに参加した人数30人（R11年度単年） 2) 利用企業数124社（R1～R11年度累計）※R1～R4年度：54社、R5～R11：70社 見込み	利用企業数（件）	21	10	10	124

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～3月	ワーケーション受入		

事業概要	(数値目標の目標年度) 項目名 松江式ワーケーションに参加した人数【4月～3月】：2029（R11）年度（単年） 項目名 利用企業数：2029（R11）年度（累計）
	・快適なテレワーク環境や地域交流、ヘルスケアを取り入れた「松江式ワーケーション」の利用拡大を図るとともに、松江固有の魅力を体験していただく。

本事業に関する主要データ	
【これまでの主な取り組みの成果】	
①富士通株式会社とのワーケーションパートナーシップ協定の締結	
・富士通グループの社員8万人に対して、松江式ワーケーションの周知が図れた。 ・モニターツアーを令和4年10月に実施し、参加者からはプログラムのブラッシュアップに向けたフィードバックをいただいた。	
②都市部企業と市内企業がビジネスマッチングにより、新規サービス開発について協業	
③地域交流会での地域課題共有がきっかけとなり、新規コワーキングスペースの開設	
④ワークショッププログラムの中で高校生の探究学習を支援	

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	・ストレスサイエンスや地域交流会によるコミュニケーションの機会をプログラム化し、松江式ワーケーションとして、21社57人を受入れ。 ・富士通株式会社とのワーケーションパートナーシップ協定を締結（R4.6）	・「松江式ワーケーションプログラム」の開発がR4年度で終了したことから、利用者の声やアンケート結果を反映するとともに、民間の創意工夫を活かしてプログラムのブラッシュアップを行い、ワーケーションの利用拡大を図る。	・利用者のニーズに対応するため、受入事業者の拡大を図り、民間の創意工夫を活かしてプログラムのブラッシュアップを行い、「松江式ワーケーション」の固有の魅力をPRすることで都市圏の企業に訴求し、利用拡大につなげていく。
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	6,177	4,450
	国・県支出金	2,100	0
	地方債		
	その他		0
	一般財源	4,077	4,450
歳入合計		6,177	4,450

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	150		
委託料	2,500		
負担金補助及び交付金	1,800		
事業費計		4,450	

課題	・本市プログラムの特徴である、ストレスサイエンスやコミュニケーション（地域交流）については、都市部企業に高評価を得ているが、さらに、民間の創意工夫を活用したパッケージ商品として質の向上を図り、都市圏の企業へ固有の魅力をPRする。	方向性	ワーケーション利用者と地元企業あるいは地域課題を抱える地域代表者との継続的な関係性を構築することで、関係人口の増加とともに将来の移住・企業誘致に繋げていく。

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	地域おこし協力隊事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	松江推しは世界中にいる
	主要施策	地域おこし協力隊事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地域資源を活用し、磨きをかけて収益事業を創り、雇用の場を拡大して、地域の活性化を図る。	項目（成果指標） 地域おこし協力隊定着率(%)	R4実績見込 84	R5計画 80	R6計画 80	目標値 80
	目標（何を達成するのか）	中核CN、協力隊員の定着（人）	16	17	20	32
	・人口維持、地域の産業維持・活性化、地域振興。 ・任期後は、松江市で起業・就業し、定住につなげる。 ・中核CN、協力隊員の定着、拡大・創出した地域ビジネス数の目標値は、R11年度末の目標値	拡大・創出した地域ビジネス数（累計、件）	14	19	21	36

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～3月	地域資源を活用した事業創出	11～12月	次年度採用コーディネーター募集
	4月	辞令交付式（採用）	3月	辞令交付式（任期満了）
	5～10月	人材募集説明会		
	9～10月	市長及び庁内報告会		

事業概要	<p>（数値目標の目標年度）</p> <p>項目名 地域おこし協力隊定着率【任期終了後定住した隊員数/受入隊員数】：2029（R11）年度松江の優れた地域資源を、それにかかわる地域の団体・企業等と共創・協働の精神により、一緒になって掘り起し、磨きあげ、収益の拡大や新たなビジネス・雇用の場を創出し、地域の元気につなげる。</p> <p>[地域おこし協力隊の活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各隊員がそれぞれの知識・経験・能力を発揮し、チームとして相乗効果を発揮する。</li> <li>地域の生産拠点を活かし、地域の団体等と協働して収益増、起業、雇用の場を創出する。</li> <li>地域資源を使った商品やサービスの再生・開発・加工・流通・販売により、地域経済の好循環を図る。</li> <li>3年の任期を終えた後は、松江市で起業・就業し、定住につなげる。</li> </ul>
------	---

本事業に関する主要データ	Intentionally left blank for data
--------------	-----------------------------------

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで同様、地域と協働した取り組みを進めると同時に、退任した隊員の行うビジネスとの連携等も図りながら、より発展的な事業を行っていく。</li> <li>次年度の採用に向けた活動を行う。</li> <li>5期生は、自身の起業・独立を見据えた実践的な取り組みを行い、退任後の定着につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで同様、地域と協働した取り組みを進めると同時に、退任した隊員の行うビジネスとの連携等も図りながら、より発展的な事業を行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで同様、地域と協働した取り組みを進めると同時に、退任した隊員の行うビジネスとの連携等も図りながら、より発展的な事業を行っていく。</li> </ul>
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費			52,918
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		708
	一般財源	0	52,210
歳入合計		0	52,918

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動終了後を具体的に見据えた事業の推進が求められ、それに向けた伴走型の支援が必要</li> </ul>	方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市の地域おこし協力隊の活動内容や特徴、成果、サポート体制が見える化し、移住マッチングサイト等を活用して広く情報発信することで、採用活動の強化を図る。</li> <li>現役の隊員に向けては、起業・創業に向けた研修体制の充実を図り、定住につなげる。</li> <li>任期満了を迎え卒業した隊員についても、引き続き関わりながら、必要に応じて支援を行う。</li> </ul>
----	--	-----	--

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	23,259	委託料	2,356
職員手当等	4,013	使用料及び賃借料	7,570
共済費	4,505	負担金補助及び交付金	4,800
報償費	337		
旅費	3,459		
需用費	1,770		
役務費	849		
事業費計		52,918	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部商工企画課	ふるさとづくり寄附事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市の魅力あるふるさとづくりに資する事業に対して寄附金を募り、これを財源として活用するとともに、ふるさと納税返礼品等を通じて松江市の魅力を全国に発信する。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		ふるさと納税寄附者数【4月～3月】	10,237	14,250	14,250	14,250
	目標（何を達成するのか）	寄附金額（千円）	20,000	300,000	300,000	300,000
・関係人口の創出を図るため、寄附者数の増加を目指す。 ・財源の確保を図るため、寄附金額の増加を目指す。 ・特産品の情報発信を図るため、返礼品数の増加を目指す。	返礼品数（品）	490	585	640	690	

事業概要	（数値目標の目標年度） ふるさと納税寄附者数【4月～3月】：2029（R11）年度 寄附金額（千円）：2029（R11）年度 返礼品数（品）：2029（R11）年度
	『ふるさと納税』と呼ばれる寄附金税制を取り扱う事業で、「松江市ふるさとづくり寄附条例」に基づき取り組んでいる。この税制では、個人が自治体に寄附した場合、2千円を除いた金額が税金から控除される。市では、観光や産業の振興、歴史文化の保全継承、魅力あるふるさとづくりなどの事業に寄附金を活用している。なお、5千円以上の寄附者には事業者等と協力し、国の基準に基づく返礼品を進呈している。また、地方創生応援税制（『企業版ふるさと納税制度』）にも取り組んでおり、内閣府から認定を受けた市の事業に対して民間企業が寄附した場合、有利な控除を受けることができる制度であることから、民間活力を得ることで、力強く地方創生を進めていく。

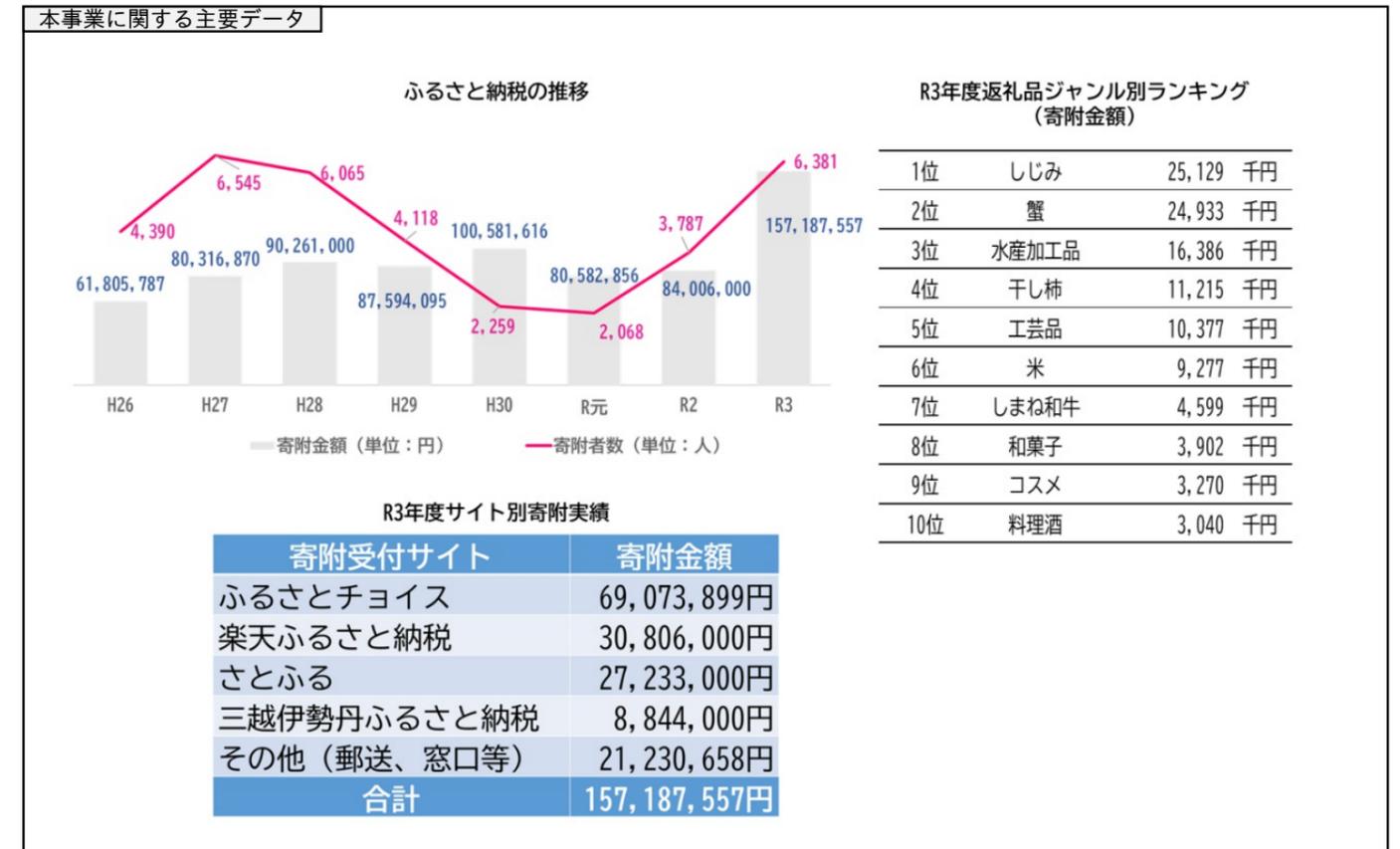
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるなび、ぐるなびふるさと納税を追加。</li> <li>寄附者ニーズを分析することや、専門的知見を取り入れることで、魅力ある特産品の開発や発掘を行った。</li> <li>パンフレットやPR用チラシを各地の松江会や同窓会組織の会員に配布するとともに、SNS等を活用したPR強化を図った。</li> </ul> <p>《企業版ふるさと納税》 ◆内閣府が実施する、企業と自治体のマッチング会への参加。（12/1、2/14、2/22）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門的知見を取り入れることにより、魅力ある特産品の開発や発掘を行う。</li> <li>コト商品（体験型商品）の返礼品を増やし、観光客の確保にも寄与する。</li> <li>様々な媒体を通じてPRを行う。</li> </ul> <p>《企業版ふるさと納税》 ◆誘致企業のリストを活用し、ターゲットを明確にすることで市の取組事業を紹介するなど、企業版ふるさと納税へ繋げるためのPR強化を図る。 ◆他部署と連携を図り、特に寄附を集める事業を選定し、企業にアプローチをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門的知見を取り入れることにより、魅力ある特産品の開発や発掘を行う。</li> <li>コト商品（体験型商品）の返礼品を増やし、観光客の確保にも寄与する。</li> <li>様々な媒体を通じてPRを行う。</li> </ul> <p>《企業版ふるさと納税》 ◆誘致企業のリストを活用し、ターゲットを明確にすることで市の取組事業を紹介するなど、企業版ふるさと納税へ繋げるためのPR強化を図る。 ◆他部署と連携を図り、特に寄附を集める事業を選定し、企業にアプローチをする。</p>
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	104,281	162,471
	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		9,182
	一般財源	104,281	153,289
歳入合計		104,281	162,471

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>他地域にはない魅力ある返礼品の開発</li> <li>全国の寄附者への返礼品等の情報発信</li> <li>新規松江ファンの獲得及びリピーターの定着化</li> <li>寄附者情報の分析や他自治体の優良事例などの情報収集</li> <li>「企業版ふるさと納税」の市外企業への積極的な提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○返礼品提供事業者等と連携し、他地域にはない魅力ある返礼品の開発に取り組み、返礼品内容を充実させ、寄附件数、寄附額単価の向上を図る。</li> <li>○庁内の関係部署や市内事業者と連携し、HPやSNS、メルマガ等を活用した情報発信力の強化。</li> <li>○返礼品の見直しやポータルサイトの追加といった取り組み強化の効果の検証や寄附者情報の分析を行うことで、サイトの特性に合った返礼品の掲載や返礼品提供事業者の利便性向上など今後の取り組みを強化。</li> <li>○誘致企業のリストを活用し、ターゲットを明確にすることで市の取組事業を紹介し、企業版ふるさと納税へ繋げるためのPR強化を図る。</li> <li>○企業と自治体のマッチング会への参加。</li> </ul>

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	松江推しは世界中にいる
	主要施策	ふるさとづくり寄附事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～	R5年度ふるさと納税の受付開始	通年	企業と自治体のマッチング会への参加
	通年	R5年度ふるさと納税返礼品の随時募集	通年	ふるさと納税のPR
	通年	魅力ある返礼品の開発		
	通年	企業版ふるさと納税のセールス		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	4,149	使用料及び賃借料	264
職員手当等	928	負担金補助及び交付金	90,000
共済費	869		
旅費	365		
需用費	693		
役務費	57,958		
委託料	7,245		
<b>事業費計</b>		<b>162,471</b>	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	出身学生とのつながりづくり創出事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「高校3年生～大学3年生」を対象に、一気通貫した情報提供やアプローチを行うことにより、将来的なUターン志向を醸成する。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		イベント参加者数（人）	751	270	400	500
	目標（何を達成するのか）					
	(R11年度) イベント参加者数：500人(単年)					

事業概要	<p>(数値目標の目標年度)                  項目名 イベント参加者数：2029 (R11) 年度                  「①地域プレーヤーとの交流、スポーツなどのイベントを通して、学生自身の松江への想いの醸成や自己実現をサポートする『ゆるやかなつながりづくり事業』と、「②就職活動や起業に有利な情報・知識・技術を取得できるセミナーや企画を行い、松江を通すことで、学生の目指すキャリアに近づくことができる『キャリアを意識したつながりづくり事業』」の2つの事業を実施することにより、ファーストキャリアとしての松江市内就業や、転職、テレワークによるUターンでの松江市内定着につなげる。</p>
------	---

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	①ゆるやかなつながり 1_スサノオマジックホームゲーム観戦&交流イベント 2_先輩社会人にプレゼンテーションしてみた!! 3_まつえフェス in 広島 4_まつえフェス in 大阪 5_Matsue学生祭  ②キャリアを意識したつながり 1_「松江とキャリア」トークセッション&交流会 2_ありたい自分を見つけるキャリア探求	①ゆるやかなつながり 1_スサノオマジックホームゲーム観戦イベント 2_Matsue学生祭  ②キャリアを意識したつながり 1_まちづくりプロジェクト等へのインターンシッププログラム	アンケートによる各イベントの効果測定を実施し、毎年イベントの見直しを実施し、Uターン志向醸成に効果的なイベントへブラッシュアップを行う。
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	6,900	7,176
	国・県支出金	5,120	5,250
	地方債		
	その他		0
	一般財源	1,780	1,926
歳入合計		6,900	7,176

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントに参加した学生の満足度は高いが、イベントの周知及び参加者募集が思うようにすすまない。</li> </ul>	方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年度に関係性ができた学生のコミュニティを通じて、情報発信をしてもらう。</li> <li>・参加しやすいイベントを引き続き行い、関係性を構築する。</li> <li>・市内の魅力的な大人たちとの接点を増やす。</li> <li>・学生に企画に携わってもらい、学生の「やってみたい」を応援する。</li> </ul>
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	松江推しは世界中にいる
	主要施策	出身学生とのつながり創出事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4-3月	事業実施		
	4-3月	参加者へのアンケート実施、分析		

本事業に関する主要データ																						
<p><b>①ゆるやかなつながりづくり事業</b></p> <p>「スサノオマジック観戦&amp;交流イベント」                  令和5年1月7日(土)13:00～18:30                  第1部:試合観戦(56名参加)                  第2部:交流イベント(21名参加)</p> <p>【参加者アンケート(n=25)】  <b>試合観戦の満足度</b>                  満足 96%                  まあまあ満足 4%</p> <p><b>交流会の満足度</b>                  満足 64%                  まあまあ満足 8%                  参加していない 28%</p> <p><b>松江の魅力を感じたり、再認識する機会となったか?</b>                  なった 76%                  まあまあなった 24%</p> <p><b>自由記述</b>                  ・初めて観戦したが、また行きたい。                  ・知らない若者と一緒に楽しめてよかった。                  ・同年代と交流できてよかった。</p> <p><b>イベントの改善点や広報の仕方のアドバイスは?</b>                  ・今回の様子や参加者の感想を伝える。                  ・Instagramのストーリーのテンプレートを配って拡散依頼する。                  ・内容はよかった。                  ・SNS発信                  ・(学校の)掲示板に張り出すだけでなく、ピラを配る。</p>	<p><b>②キャリアを意識したつながりづくり事業</b></p> <p>「松江とキャリア」トークセッション&amp;交流会                  令和4年11月23日(水・祝)13:30～17:00                  17名参加(リアル11名、オンライン6名)</p> <p>【参加者アンケート(n=15)】  <b>イベントの満足度</b>                  満足 73.3%                  まあまあ満足 20%                  普通 6.7%</p> <p><b>松江での働き方や暮らし方の参考になったか?</b>                  参考になった 86.6%                  まあまあなった 6.7%                  あまりならなかった 6.7%</p> <p><b>働く場としての「松江」に意識変化はあったか?</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>〈参加前〉</th> <th>〈参加後〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松江で働きたい</td> <td>33.3%</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>どちらかという松江</td> <td>6.7%</td> <td>13.3%</td> </tr> <tr> <td>どちらかという市外</td> <td>20%</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>市外で働きたい</td> <td>33.3%</td> <td>13.3%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>6.7%</td> <td>6.7%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0</td> <td>26.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>自由記述</b>                  ・島根にいるから好きな仕事ができない、キャリアがつかめないのではなく、地元にながらもオンラインで様々な仕事ができたり人と繋がれることに魅力や可能性を感じた。                  ・松江市のことを好きで、魅力的に感じて、働いておられる方の話を聞き、誇らしく幸せな気持ちになった。                  ・市内で働いている人の話をもっと聞いてみたい。</p>		〈参加前〉	〈参加後〉	松江で働きたい	33.3%	20%	どちらかという松江	6.7%	13.3%	どちらかという市外	20%	20%	市外で働きたい	33.3%	13.3%	その他	6.7%	6.7%	無回答	0	26.7%
	〈参加前〉	〈参加後〉																				
松江で働きたい	33.3%	20%																				
どちらかという松江	6.7%	13.3%																				
どちらかという市外	20%	20%																				
市外で働きたい	33.3%	13.3%																				
その他	6.7%	6.7%																				
無回答	0	26.7%																				

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	176		
委託料	6,340		
使用料及び賃借料	660		
事業費計		7,176	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	郷土行事等振興事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	・ 伝統行事・伝統文化の保存継承	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		鑿行列参加団体数	14	19	20	20
	目標（何を達成するのか）	菊花展出品者数	84	90	95	100
	松江祭鑿行列・宵宮（前夜祭）の開催 菊花展の開催					

事業概要	<p>◆松江祭鑿行列 10月の第3土日で、鑿保有町内及び鑿保有団体による宵宮（土曜日）、行列（日曜日）を開催（市内団体数31） 【令和5年度参加予定数】 宵宮：9団体 鑿行列：19団体</p> <p>◆鑿まつり開催補助 令和4年度参加数：団体6団体</p> <p>◆松江菊花展 10月中旬～11月初旬に文部科学大臣賞を最高位に松江城馬溜広場で開催</p> <p>◆鑿修繕 豎町、相生町の2地区の鑿を修繕</p>
------	---

	R4実績見込	R5計画	R6計画
事業計画	<p>[鑿行列] 10/16（日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 107回目の鑿行列を実施。</li> <li>・ 参加団体数：14団体（1,000人）</li> <li>・ 観覧者数：90,000人</li> </ul> <p>[宵宮（前夜祭）]10/15（土）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松江市内の橋北・橋南の計2箇所で見物客や市民など鑿たたき体験を実施。</li> <li>・ 参加団体数：6団体</li> <li>・ 観覧者数：5,000人</li> </ul> <p>[菊花展] 10/29（日）～11/13（日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松江城馬溜で菊の展示を実施。</li> <li>・ 応募者数：84（県内：78、県外：6）</li> <li>・ 来場者数：66,000人</li> </ul> <p>達成度</p> <p>1   計画目標に向けて順調に推移</p>	<p>[鑿行列] 10/15（日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 108回目の鑿行列を実施予定。</li> </ul> <p>[宵宮（前夜祭）]10/14（土）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松江市内の橋北・橋南の計2箇所で見物客や市民など鑿たたき体験を実施予定。</li> </ul> <p>[菊花展] 10/28（土）～11/15（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松江城馬溜で菊の展示を実施予定。</li> </ul> <p>[鑿まつり]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松江城大手前駐車場にて開催予定</li> </ul> <p>[鑿修繕]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豎町、相生町の2地区を修繕予定。</li> </ul>	<p>[鑿行列] 10月第3日曜日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 109回目の鑿行列を実施予定。</li> </ul> <p>[宵宮（前夜祭）]行列の前日の土曜日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松江市内の橋北・橋南の計2箇所で見物客や市民など鑿たたき体験を実施予定。</li> </ul> <p>[菊花展]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松江城馬溜で菊の展示を実施予定。</li> </ul> <p>[鑿まつり]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松江城大手前駐車場にて開催予定</li> </ul> <p>[鑿修繕]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 希望があった地区を修繕予定。</li> </ul>

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		9,388	13,700
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	9,388	13,700
歳入合計		9,388	13,700

課題	方向性
<p>■鑿行列 ・各参加町内・団体へ松江市が支払っている報償金については、各参加団体のスケジュールにより、年度ごとの参加団体数が変わるため、早期に翌年度参加団体数を把握する必要がある。</p> <p>■宵宮（前夜祭） ・H30年度から、橋南会場をJR松江駅北口に変更した結果、賑わいの創出に成功した。今後、集客をどのように活かしていくか検討が必要。</p> <p>・橋北会場は水燈路期間のため観光客や市民で賑わっている。</p> <p>■菊花展 ・会員の高齢化にともない、出品者数が減少している。また、出品者が固定化していることから、より幅広く募集をかける必要がある。</p> <p>・後継者の確保、育成。</p>	<p>■鑿行列 ・鑿行列保存会の後継者育成と参加団体数の確保、ならびに市民への普及と浸透を図る。</p> <p>■菊花展 ・市報、ケーブルテレビ、チラシ等の媒体を利用して、菊花展の開催及び作品募集のPRを事前に行う。</p>

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	10月	鑿まつり・宵宮・鑿行列開催		
	10月～11月	菊花展開催		

本事業に関する主要データ											
●鑿行列	10/16	10/15	10/21	10/20	10/18	10/17	10/17	中止	中止		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4				
	構成団体数	31	31	31	31	31	31				
	参加団体数	13	21	16	17	-	25	14			
参加人数	1,410	2,266	1,736	1,970	-	-	1,005				
観覧者数	80,000	50,000	80,000	85,000	-	-	90,000				
●宵宮（前夜祭）	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	中止	中止		
	参加団体数	12	7	12	9	-	8	6			
	観覧者数	8,500	5,000	9,000	7,000	-	-	5,000			
	●鑿まつり（水燈路に合わせて鑿行列2週間前くらいに実施）										
H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	中止	中止			
参加団体数	7	10	7	8	-	-	6				
●菊花展	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	*10/24 ～11/7 15日間	*10/26 ～11/8 14日間	*10/28 ～11/11 15日間	*10/29 ～11/13 16日間
	出品者数	47	49	51	49	49	54	84			
	うち県内	39	40	42	42	41	48	78			
	うち県外	8	9	9	7	8	6	6			
	開催日数	17	16	14	15	14	15	16			
	来場者数	85,000	75,000	80,000	80,000	54,000	42,000	66,000			
	会員数	66	67	63	63	62	71	68			
	<p>・希望があった地区を修繕予定。</p>										

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	5,700		
委託料	7,000		
負担金補助及び交付金	1,000		
事業費計			13,700

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部松江城・史料調査課	地域の文化財調査・発信事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「誰もが松江の歴史文化を誇りに思い、こころ豊かになれるまち」実現のため	項目（成果指標） 地域調査実施公民館区数（累計）	R4実績見込 4	R5計画 5	R6計画 6	目標値 29
	目標（何を達成するのか）					
	「文化財保存活用地域計画」に基づき、公民館区ごとに地域住民とともに文化財調査を実施することにより、地域ごとの歴史的特徴を明らかにするとともにその魅力を発信する。					

事業概要	〔数値目標の目標年度〕 ・地域調査実施公民館区数（累計）：2032（R14）年度 地域に残る歴史史料（古文書等）を中心に、その所在や内容を調査し、実態把握と保存の措置をとる。 調査の成果は公民館を中心とした地域と共有するとともに、松江市歴史叢書や歴史史料集の発刊、SNSやWeb講座、松江歴史館での展示等に反映する。
	1) 地域別文化財調査 ・古文書悉皆調査…松江市域の公民館区ごとに古文書調査を実施。悉皆的に所在を把握するとともに保存の措置を図る。 ・地域住民との連携…調査に当たっては地域の歴史に詳しい方や、子供たちからも情報を集めるなど協力を求める。 ・専門家の助言…近世・近現代をはじめとする文献史料や、絵図・地図、民俗文化財など各方面の専門家の協力を求める。 2) 地域の文化財情報の発信 ・調査で得られた成果は地域と共有することとし、公民館での発表、各種刊行物やWeb講座等で積極的に発信する。 ・SNS等を通じて市域内外の若い世代や子供たちにも分かりやすい情報発信を行う。

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館区ごとの古文書所在確認調査（生馬・持田・朝酌・川津）</li> <li>市内に存在する文書の調査・整理・目録作成。</li> <li>歴史史料の解読作業、松江市歴史叢書、松江市歴史史料集等の発刊</li> <li>Web講座の開催、HPやSNSによる歴史・史料情報の発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館区ごとの古文書所在確認調査（秋鹿）</li> <li>市内に存在する文書の調査・整理・目録作成。</li> <li>歴史史料の解読作業、松江市歴史叢書、松江市歴史史料集等の発刊</li> <li>Web講座の開催、HPやSNSによる歴史・史料情報の発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館区ごとの古文書所在確認調査（古江）</li> <li>市内に存在する文書の調査・整理・目録作成。</li> <li>歴史史料の解読作業、松江市歴史叢書、松江市歴史史料集等の発刊</li> <li>Web講座の開催、HPやSNSによる歴史・史料情報の発信</li> </ul>
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		8,548	9,272
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債		
	その他	672	741
	一般財源	7,876	8,531
歳入合計		8,548	9,272

課題	方向性
・地域に残る歴史史料の調査と保存の措置、研究と活用が求められている。	・史料調査の成果を「松江市歴史叢書」・「松江市歴史史料集」等の刊行物の発刊や講座の開催等を通して地域と共有し、市民の地域に対する誇りと愛着を醸成するとともに、貴重な史料の散逸を防ぐ。

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	年間	地域別文化財調査	随時	Web講座配信
	～8月	歴史叢書原稿執筆		
	3月	歴史叢書発刊		
	随時	古文書写真撮影		

本事業に関する主要データ

「松江市文化財保存活用地域計画」に基づき、公民館区を単位とした地域別文化財調査を実施する。調査は地域史学習の主体である住民の参加を得て進め、成果は地域と共有する。

**地域別文化財調査**  
公民館や学校を通じて、それぞれの地域から歴史を掘り起こしていく。

← 地域の協力  
← 専門家の助言・指導

○古文書悉皆調査  
地域に残る歴史史料（古文書等）の所在確認を行うとともに、劣化防止や虫害対策など保存の措置を取る。

**調査成果は地域と共有**

○講座の開催  
○刊行物の出版

さらなる地域史学習へとつなげるとともに、自分たちの住む地域に対する誇りと愛着を醸成する。

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	3,682	委託料	517
職員手当等	768	使用料及び賃借料	49
共済費	777		
報償費	1,100		
旅費	249		
需用費	2,006		
役務費	124		
事業費計		9,272	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	文化力を生かしたまちづくり推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市民の暮らしの根底にあり、市民の誇りとなりうる力「松江の文化力」を次世代に受け継ぎ、住む人、訪れる人、誰もが心豊かになれるまちにしていこう。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	成果指標になじまない					
	目標（何を達成するのか）					
	伝統文化芸術の振興を図り、松江の文化力を生かしたまちづくりを行う。					

**事業概要**  
 誰もが松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かになれるまちを目指して、令和3年3月に「松江の文化力を生かしたまちづくり条例（以下、「条例」という）」を制定するとともに、「松江市伝統文化芸術振興計画（以下、「振興計画」という）」を策定し、令和4年3月には、「松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画（以下、「実施計画」という）」を策定した。  
 条例において、松江市伝統文化芸術振興審議会（以下、「審議会」という）が振興計画の推進に関する施策や実施計画の評価・検証を行うこととなっており、年に2回開催する審議会の運営を行う。

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	○パンフレット等による条例や振興計画の周知 ○審議会の設置及び開催 ・第1回審議会：9月26日開催 ・第2回審議会：3月29日開催 ○庁内連絡会議の開催 ・8月30日、1月30日開催 ○「令和5年度版松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画」を策定	○パンフレット等による条例や振興計画の周知 ○審議会の設置及び開催 ・第1回審議会：9月下旬開催予定 ・第2回審議会：3月下旬開催予定 ○庁内連絡会議の開催 ○「令和6年度版松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画」を策定	○パンフレット等による条例や振興計画の周知 ○審議会の設置及び開催 ・第1回審議会：9月下旬開催予定 ・第2回審議会：3月下旬開催予定 ○庁内連絡会議の開催 ○「松江市伝統文化芸術振興計画第2期実施計画」の策定
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	275	648
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		648
	一般財源	275	0
歳入合計		275	648

**課題**  
 条例制定や振興計画及び実施計画を多くの市民に周知する必要がある。  
 また、伝統文化芸術のどの分野においても後継者不足や次世代への継承など共通の課題がある。

**方向性**  
 松江の文化力を支える七つの柱について「知る」「育てる」「伝える」「創造する」「活用する」「支える」の六つの取組の視点を取り入れながら、振興を図る。  
 伝統文化芸術の振興を効率的、効果的に取り組むため、関係部署や関係団体などとの連携を図る。

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	9月	第1回審議会開催		
	3月	第2回審議会開催		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	242		
旅費	298		
需用費	10		
役務費	8		
委託料	40		
使用料及び賃借料	50		
<b>事業費計</b>			648

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	松江の文化力次世代育成・継承事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「松江の文化力」を再認識し、未来を担う子供たちはもとより、世代を超えて誰もが心豊かになれるまちを実現するために実施するもの。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）	講座・教室、イベント実施件数（件）	13	22	24	24
		講座・教室、イベント参加者数（人）	294	400	500	500
松江の文化力への関心を高め、郷土愛の醸成を育み、次世代育成や伝統文化・文化芸術の継承を図る。	補助金の活用団体数（件）	6	30	30	30	

事業概要	(数値目標の目標年度)
	講座・教室、イベント実施件数（件）：令和6年度 講座・教室、イベント参加者数（人）：令和6年度 補助金の活用団体数（件）：令和6年度 【松江の文化力体験推進事業】 子どもと保護者が松江の文化力を知り、体験する機会を創出する ○伝統文化や文化芸術の講座・体験教室 子どもと保護者を対象に七つの柱にちなんだ講座や体験教室を開催する。 ○伝統文化や文化芸術を体験できるイベント 既存イベントに合わせて文化体験ができる機会を提供する。 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 地域の伝統行事の保存・継承を支援する ・上限額：1団体あたり5万円

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	【松江の文化力体験推進事業】 ○伝統文化や文化芸術の講座や体験教室 ・開催数：8件 ・参加者数：205人 （「重要文化財菅田庵と本格お抹茶体験」、「出雲弁で出雲そば体験！」など） ○伝統文化や文化芸術の体験イベント ・開催数：5件 ・参加者数：89人 （鳥根スサノオマジックホームゲームに併せて開催した「Let's和菓子でバスケットボールづくり」など） 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・交付数：6団体	【松江の文化力体験推進事業】 ・伝統文化や文化芸術の講座や体験教室を開催する ・伝統文化や文化芸術の体験イベントを開催する 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・補助金を交付し、地域の伝統行事の保存・継承を支援する。 ・広く補助金について周知する。	【松江の文化力体験推進事業】 ・伝統文化や文化芸術の講座や体験教室、体験イベントを開催する 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・補助金を交付し、地域の伝統行事の保存・継承を支援する。 ・広く補助金について周知する。
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R4	R5
	決算見込	当初予算
事業費	4,459	5,763
国・県支出金	0	0
地方債	0	0
その他	4,159	5,763
一般財源	300	0
歳入合計	4,459	5,763

課題	・令和4年度新規事業であり、事業の周知が不足していたため、参加者の定員に満たない講座や教室があった。また、補助金の活用団体が少なかった。 ・子どもと保護者が興味関心を持って楽しく学び体験できるよう、講座や体験教室の内容等について検討する必要がある。	方向性	・子どもと保護者をメインターゲットとして市民に松江の文化力を知り、楽しみながら体験する機会を提供することで、松江の文化力への関心を高め、郷土愛の醸成を育み、担い手の確保や地域の伝統文化の継承を図る。 ・地域に根づく伝統行事の保存・継承の取り組みを支援し、伝統行事の継承を図る。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	講座・体験教室の開催		
	通年	体験イベントの開催		
	通年	補助金の申請受付、交付		

### 本事業に関する主要データ

#### 松江の文化力体験推進事業

Target  
子どもと保護者

Goal  
松江の文化って楽しい

①講座・体験教室  
・「出雲弁で出雲そば体験」など七つの柱をテーマに講座や体験教室を開催する。  
②体験イベント  
・鳥根スサノオマジックホームゲームに併せて会場和菓子体験教室を開催するなど、既存イベントに併せて伝統文化芸術を体験できる機会を提供する。

#### 地域に根づく伝統文化継承事業補助金

Target  
地域の伝統行事を担う団体など

Goal  
伝統行事の継承  
後継者・担い手の育成

①補助対象事業  
・地域に根づく伝統文化が将来にわたって継承されていくよう、写真や動画として記録・保存する事業  
・記録・保存のための伝統行事等の開催（活用例）行事を撮影するための委託費、菓などの材料費など  
②補助金の額  
・1団体あたり5万円

#### 令和4年度実績(見込)

No	講座・体験教室の名称	参加者/定員
1	重要文化財菅田庵と本格お抹茶体験	18人/20人
2	世界に一つ自分だけの抹茶茶碗づくり体験&松江の茶の湯文化講座	80人/90人
3	はくちょう号から望む秋の夕日と生演奏♪	32人/32人
4	親子で息を合わせて！響行列体験	17人/17人
5	1400万年前の米将石を担って記念手形づくり体験	13人/90人
6	親子でミニオーケストラ鑑賞&体験	20人/40人
7	へるん先生五感で感じる体験♪	10人/30人
8	出雲弁で出雲そば体験!	15人/20人
合計		205人/418人

No	体験イベントの名称	参加者/定員	その他
1	Let's親子で初めてのいけばな体験	18人/16人	
2	Let's親子でカメラマン体験	5人/16人	市民文化祭に併せて開催
3	Let's和紙でステキにちぎり絵体験	7人/30人	
4	Let's親子でMy手持ち行燈づくり体験	36人/40人	水燈路に併せて開催
5	Let's和菓子でバスケットボールづくり	23人/24人	スサノオマジックホームゲームに併せて開催
合計		89人/126人	

#### 令和4年度実績(1月末時点)

No	申請団体	申請額
1	宍道町昭和地区自治会(とんど行事)	50千円
2	美保関町菅浦区自治会(とんど行事)	50千円
3	玉湯まがたま太鼓(伝統芸能)	50千円
合計		150千円

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	4,263		
負担金補助及び交付金	1,500		
事業費計			5,763

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	茶の湯文化振興費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」・「松江市茶の湯条例」に基づき、茶の湯を通じた文化と産業の振興を図るとともに、将来へ発展的に継承し、「茶の湯のまち・松江」の実現を図る	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		「茶の湯の日」PR協力店舗数（店）	47	65	65	65
	目標（何を達成するのか）	「松江藩ちやのゆの学校」受講者数（人）	34	136	150	150
茶の湯文化に触れる機会の創出・拡充	茶の湯関連イベント参加者数（人）	1,567	1,600	1,600	1,600	

**事業概要**

【茶の湯の日】  
「松江市茶の湯条例（平成31年4月施行）」で制定した「茶の湯の日（4月24日）」に係る機運の醸成を図り、茶の湯文化の市民の理解及び茶の湯文化関係事業者の振興を図るとともに、「茶の湯のまち松江」の実現のため官民連携して実施するもの。

【松江藩ちやのゆの学校】  
主に茶道未経験者向けに「抹茶・お菓子のいただき方」「お点前のいろは」を教える出前講座「松江藩ちやのゆの学校」を実施する。まずは茶の湯文化を体験し、松江の茶の湯文化の歴史や意義を理解してもらい、茶道各流派の後継者育成のきっかけづくりとするもの。

【茶の湯文化振興補助金】  
「和菓子」「お茶」「食」といった切り口から茶の湯文化体験イベントやシンポジウムを実施する団体へ補助を行う。年間を通して気軽に茶の湯文化に触れることのできる企画を実施し、茶の湯文化を未来へと繋げる。

【松江城大茶会】  
松江城大茶会は、日本三大茶会の一つとして、松江の秋の風物詩として定着している。大衆性を重視し、広く一般を含めた市民レベルの茶会として開催されており、「茶どころ松江」を市内外に発信することに多大な貢献をしている。また、県外からの誘客効果も大きく、観光振興にも寄与している。

【茶の湯文化説明パンフレット】パンフレットにおいて、松江の茶の湯文化や「茶の湯の日」に関する説明や菅田庵など松平不昧公ゆかりの茶室を紹介する。またパンフレットを手にとった人をLINE公式アカウントで開催するスタンプラリーに誘導することで、松江市内の茶処を周遊させる仕組みを構築する。

	R4実績見込	R5計画	R6計画
<b>事業計画</b>	<p>【茶の湯の日PR】 ・ポスター・のぼり掲示 ・茶の湯関連商品の特売 ・学校給食で抹茶特別メニュー（鱈の抹茶揚げ、タラの抹茶塩かけなど）を提供</p> <p>【茶の湯の日イベント】 &lt;4月23日、24日&gt; 内容：茶の湯体験、菓子づくり体験 会場：イオン松江店 参加者：670人 &lt;10月22日、23日&gt; 内容：茶の湯体験、菓子づくり体験 会場：イオン松江店 参加者：897人</p> <p>【松江藩茶の湯の学校】 3団体計34人が参加 【食文化シンポジウム】 開催日：3月5日 会場：県民会館 参加者：60人</p>	<p>【茶の湯の日PR】 ・ポスター・のぼり掲示 ・茶の湯関連商品の特売 ・学校給食で抹茶特別メニュー（鱈の抹茶揚げ、タラの抹茶塩かけなど）を提供</p> <p>【茶の湯の日イベント】 &lt;4月22日、23日&gt; 内容：茶の湯体験、菓子づくり体験 会場：イオン松江店 &lt;10月21日、22日&gt; 内容：茶の湯体験、菓子づくり体験 会場：イオン松江店</p> <p>【松江藩茶の湯の学校】 募集案内予定 【食文化シンポジウム】 会場：未定 日程：未定</p> <p>【松江城大茶会】 日程：10月28日、29日開催予定 会場：松江城二の丸、松江歴史館、赤山茶道会館ほか</p>	<p>【茶の湯の日PR】 ・ポスター・のぼり掲示 ・茶の湯関連商品の特売 ・学校給食で抹茶特別メニュー（鱈の抹茶揚げ、タラの抹茶塩かけなど）を提供</p> <p>【茶の湯の日イベント】 &lt;4月20日、21日&gt; 内容：茶の湯体験、菓子づくり体験 会場：イオン松江店 &lt;10月19日、20日&gt; 内容：茶の湯体験、菓子づくり体験 会場：イオン松江店</p> <p>【松江藩茶の湯の学校】 募集案内予定 【食文化シンポジウム】 会場：未定 日程：未定</p> <p>【松江城大茶会】 日程：未定 会場：未定</p>
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R4	R5
	決算見込	当初予算
事業費	1,145	3,251
財源内訳		
国・県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	1,145	3,251
歳入合計	1,145	3,251

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代への茶の湯文化の継承</li> <li>茶の湯文化に係る事業者との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>和菓子店等々と連携して「茶の湯の日」の取り組みの推進</li> <li>SNS等を利用した情報発信強化</li> </ul>

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	茶の湯文化に関する情報発信、松江藩茶の湯の学校の開催		
	4月	茶の湯の日イベント（春）の開催		
	10月	茶の湯の日イベント（秋）、松江城大茶会の開催		
	1月	食文化シンポジウムの開催		

本事業に関する主要データ					
■「茶の湯の日」PR協力店舗					
年度	H30	R1	R2	R3	R4
店舗数	61	56	62	45	47
■「茶の湯の日」市内給食提供数					
年度	H30	R1	R2	R3	R4
提供数	1617	170000	194000	20100	20000
■松江藩ちやのゆの学校					
年度	H30	R1	R2	R3	R4
受講者数	11	8	0	0	34
■茶の湯の日イベントの開催					
年度	R1	R2	R3	R4	
参加者数	548	626	1059	1567	
■食文化シンポジウムの開催					
年度	H30	R1	R2	R3	R4
参加者数	150	200	30	中止	60
■松江城大茶会					
年度	R2	R3	R4		
参加者数	中止	中止	1948		

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	143		
旅費	67		
需用費	270		
役務費	11		
負担金補助及び交付金	2,760		
事業費計		3,251	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	郷土芸能継承発展経費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	本市の貴重な伝統芸能文化の継承、発展を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		指標になじまない				
	目標（何を達成するのか）					
地域伝統芸能祭の開催や保存団体等の支援を通して、伝統芸能文化の継承の機運を高める。						

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	負担金交付（松江市伝統芸能文化保護育成協議会）		

事業概要	<p>松江市の伝統行事の保護育成を目的とする松江市伝統芸能文化保護育成協議会（23団体）に対し補助を行う。</p> <p>◆事業の目的 当協議会が行う伝統芸能等の啓発・発信にかかる取り組みや後継者の確保・育成に繋がる事業等に対し補助を行い、伝統芸能等に対する市民の理解を深めるとともに、これらの保存・継承を図る。令和5年度は令和4年度に作成をするパンフレットの増刷と講師を招いた研修会を行う予定。</p> <p>【令和5年度事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統芸能パンフレット増刷：3,000部・研修会（講演会、交流会）</li> </ul>
------	---

本事業に関する主要データ	
<p>■加盟団体：23団体</p> <p>地域別：旧松江市13、鹿島町2、島根町1、美保関町2、八束町1、八雲町1、宍道町1、東出雲町2</p>	

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<p>○松江伝統芸能祭開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出演団体：協議会加盟団体他11団体（約130人が出演）</li> <li>・会場：松江テルサ</li> <li>・来場者：延べ1,000人</li> <li>・松江伝統芸能祭実行委員会へ負担金を交付</li> </ul> <p>○松江市伝統芸能文化保護育成協議会負担金（23団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保存団体への活動助成（3万円）</li> <li>・情報提供（各種支援制度など）</li> </ul>	<p>○松江市伝統芸能文化保護育成協議会負担金（23団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保存団体への活動助成（4万円）</li> <li>・情報提供（各種支援制度など）</li> <li>・研修会（講演会・交流会）の開催</li> </ul>	<p>○松江市伝統芸能文化保護育成協議会負担金（23団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保存団体への活動助成</li> <li>・情報提供（各種支援制度など）</li> <li>・研修会（講演会・交流会）の開催</li> </ul>
	達成度	1	計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		4,484	920
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	4,484	920
歳入合計		4,484	920

課題	保存団体の高齢化や地域の学校とのつながりの希薄化などから後継者の確保や活動の継続が難しくなっている。
方向性	保存団体の支援を行うとともに、伝統芸能祭の開催や情報発信を通して、若い世代を含む多くの市民に伝統芸能の魅力に触れてもらい、継承、発展につなげていく。

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	920		
事業費計			920

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	スピーチコンテスト事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市を世界に紹介した文豪・小泉八雲の命日を記念して、八雲の作品を英語で暗唱するコンテストを開催することによって、青少年の英語の表現力向上に資し、国際理解と親善に貢献することを目的とする。	項目（成果指標） 参加人数（人）	R4実績見込 42	R5計画 70	R6計画 70	目標値 70
	目標（何を達成するのか） ・小泉八雲作品の普及 ・青少年の英語表現力の向上	県内参加人数（人）	25	50	50	50
		参加校（校）	28	35	35	35

事業概要	<p>「ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト」は、小泉八雲（ヘルン、ラフカディオ・ハーン）が文筆を通じて日本や松江を世界に紹介した功績をたたえ、作品を英語で暗唱することによって、青少年の英語表現力や国際性を高めることを目的に、年に1回、八雲の命日9月26日前後に松江で開催している。コンテストには、駐日アイルランド大使を招待しており、松江とアイルランドの交流の機会にもなっている。</p> <p>【開催概要※予定】                      イベント名：第57回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト                      開催日：令和5年9月24日（日）                      会場：島根県民会館</p>
------	--

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	第56回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテストを開催。 会場：松江テルサ 日程：9月25日（日）9：30～18：00 参加資格：ジュニアの部、シニアの部 スピーチの内容：八雲の英文の作品（『改訂新・小泉八雲暗唱読本』）の暗唱発表。 参加者数 42人（ジュニアの部25人、シニアの部17人）	第57回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテストを開催。 会場：島根県民会館 日程：9月24日（日）9：30～18：00 参加資格：ジュニアの部、シニアの部 スピーチの内容：八雲の英文の作品（『改訂新・小泉八雲暗唱読本』）の暗唱発表。 参加者予定数 70人（ジュニアの部40人、シニアの部30人）	第58回ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテストを開催。 会場：未定 日程：未定 参加資格：ジュニアの部、シニアの部 スピーチの内容：八雲の英文の作品（『改訂新・小泉八雲暗唱読本』）の暗唱発表。 参加者予定数 70人（ジュニアの部40人、シニアの部30人）
	達成度 1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	1,549	1,621
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	1,549	1,621
歳入合計		1,549	1,621

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の国際交流と八雲の作品の普及のために、より一層の関心を持っていただけるよう、出場者だけでなく、観覧者の増加が必要</li> <li>・市内参加者数の増加</li> </ul>	方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会を通じて校長会等で各学校への参加協力依頼</li> <li>・SNS等を利用した情報発信の強化</li> <li>・参加者のレベルに応じて、部門を増やすことも検討が必要</li> </ul>
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月～8月	参加者募集		
	9月下旬	スピーチコンテスト開催		

本事業に関する主要データ						
ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト						
年度	平成28年度 (第50回)	平成29年度 (第51回)	平成30年度 (第52回)	令和元年度 (第53回)	令和2年度 令和3年度	令和4年度 (第56回)
参加者数合計	76	62	54	45	中止	42
うち市内	31	27	20	21		13
うち市外	45	35	34	24		29
ジュニア	40	37	28	25		25
うち市内	18	16	10	12		7
うち市外	22	21	18	13		18
シニア	36	25	26	20		17
うち市内	13	11	10	9		6
うち市外	23	14	16	11		11

(人)

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
役務費	9		
委託料	1,075		
使用料及び賃借料	537		
事業費計		1,621	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	子ども塾スーパーへるんさん講座事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江ゆかりの文学者である小泉八雲の顕彰を図るとともに、主として八雲の感性を通じて松江や日本文化を再発見する機会とするもの	項目（成果指標） 実施校数（校）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	スーパーへるんさん講座を受講した子供達の豊かな心を育てるとともに、国際社会への理解を深める。	1	1	2	2	

事業概要	<p>小学生を対象に、松江ゆかりの文学者である小泉八雲について学ぶ場を提供することにより小泉八雲の顕彰を図るとともに、主として小泉八雲の感性を通じて松江や日本文化を再発見する機会とするもの。 平成16年度から平成28年度は松江市内の小学4年生から中学3年生までを対象に、参加者を公募し、夏休みに実施していたが、平成29年度からは小学校と連携して実施するスタイルに変更した。 令和5年度からは、講座を希望する小学校1校の他に、講座を希望する小学生を募集し、講座を開催する。</p> <p>【実績】 平成29年度 内中原小学校（4年生） 平成30年度 中央小学校（4年生） 令和元年度 中央小学校（4年生） 令和2年度 古江小学校（4年生）、来待小学校（6年生）、揖屋小学校（4年生）、竹矢小学校（4年生） 令和3年度 古江小学校（4年生） 令和4年度 古江小学校（4年生）</p>
------	---

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	松江市内の1つの小学校において、小泉八雲ゆかりの体験学習等と実施した。 【実施校】古江小学校（4年生） 【内容】講義、五感を使った活動、まちあるき	松江市内の1つの小学校において、小泉八雲ゆかりの体験学習等と実施する。 【実施校】古江小学校（4年生） 【内容】講義、五感を使った活動、まちあるき	希望する小学校を対象に、小泉八雲ゆかりの体験学習等と実施する
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		120	193
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	120	193
歳入合計		120	193

課題	希望する学校が固定化しており、広がりが少ない	方向性	教育委員会と連携し、これまで参加してこなかった学校にも参加を呼び掛ける
----	------------------------	-----	-------------------------------------

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～7月	実施予定校と協議、準備		
	7月～11月	子ども塾開催		

本事業に関する主要データ						
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
参加者数	121人	58人	60人	167人	50人	38人
参加校	1校	1校	1校	4校	1校	1校

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	13		
需用費	10		
役務費	1		
使用料及び賃借料	169		
事業費計			193

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	作品普及事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の功績をたたえ、その作品を対象とする感想文・詩の募集を行うことにより、八雲の作品の読書をすすめる、豊かな心を育てるとともに、国際社会への理解を深めることを目的とする。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	応募作品数	73	130	130	130	
	目標（何を達成するのか）	松江市内応募作品数	2	13	26	26
「小泉八雲をよむ」感想文・詩の募集事業を実施し、小泉八雲作品の普及および読書の推進をはかり豊かな心を育てるとともに、国際社会への理解を深める。						

事業概要	小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の功績をたたえ、その作品を対象とする感想文・詩の募集を行うことにより、八雲の作品の読書をすすめる、豊かな心を育てるとともに、国際社会への理解を深めることを目的とする。 感想文4部門（小学生・中学生・高校生・一般）、詩1部門を募集し、優秀作品を表彰する。
------	---

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	小泉八雲の作品または小泉八雲の生涯に関する作品を対象とする「小泉八雲をよむ」感想文・詩の募集事業を実施した。 （感想文第37回、詩第34回） 応募数73作品（感想文45作品、詩28作品）	小泉八雲の作品または小泉八雲の生涯に関する作品を対象とする「小泉八雲をよむ」感想文・詩の募集事業を実施する。 （感想文第38回、詩第35回） 応募予定数130作品（感想文80作品、詩50作品）	小泉八雲の作品または小泉八雲の生涯に関する作品を対象とする「小泉八雲をよむ」感想文・詩の募集事業を実施する。 （感想文第39回、詩第36回） 応募予定数130作品（感想文80作品、詩50作品）
	達成度	1	計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		290	290
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	290	290
歳入合計		290	290

課題	・市内応募者の割合が少ない（R2：179名中5名、R3：135名中4名、R4：73名中2名）	方向性	・教育委員会との連携強化 ・SNS等を使用した情報発信強化
----	--	-----	----------------------------------

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月～1月	作品募集		
	2月	作品審査		
	3月	表彰式開催		

本事業に関する主要データ											
「小泉八雲をよむ」感想文・詩の募集事業応募数											(点)
年度	感想文				小計	(作詞・)詩				小計	合計
	小学生	中学生	高校生	一般		小学生	中学生	高校生	一般		
R4	5(1)	5	12	23	45(1)	0	0	0	28(1)	28(1)	73(2)
R3	4(1)	4	26	50(2)	84(3)	0	0	1	50(1)	51(1)	135(4)
R2	27(4)	9	25	66(1)	127(5)	1	0	1	50	52	179(5)
R1	2	1	32(1)	61(2)	96(3)	2	1	0	38	41	137(3)
H30	19(1)	6(2)	11(7)	29(2)	65(12)	0	1(0)	2(1)	26(0)	29(1)	94(13)
※ ( )内は松江市内											
【応募者の居住地】											
東京都、京都府、島根県、岐阜県、埼玉県、愛知県、山口県、岡山県、熊本県、広島県、岩手県、兵庫県、富山県、宮崎県、茨城県、神奈川県、広島県、静岡県、福岡県、奈良県、愛知県、沖縄県、海外（中国、オランダ）											

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	33		
役務費	21		
委託料	236		
事業費計		290	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部埋蔵文化財調査課	史跡田和山・神後田遺跡史跡等取得事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史・文化を活かしたまちづくり

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	史跡田和山・神後田遺跡の追加指定地について、遺跡の保護と将来への継承を円滑に行うため。	項目（成果指標） 土地取得面積（㎡）	R4実績見込 4,603.74	R5計画 485	R6計画 2	目標値 7,884.74
	目標（何を達成するのか）					
	史跡追加指定地の公有地化を行う。					

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月	用地測量		
	7月	補償物件調査		
	12月	土地取得		

事業概要	史跡田和山・神後田遺跡の追加指定地にかかる公有地化を実施する。
------	---------------------------------

本事業に関する主要データ



弥生時代前期（紀元前4世紀頃）の溝（環壕）  
かんごう  
 集落のまわりを取り囲む環壕です。田和山遺跡でも同じような環壕が見つっています。田和山遺跡の環壕は3重ですが、神後田遺跡は1重です。時期は田和山遺跡と同時期です。このように近距離に二つの環壕がある地域は全国でほとんど見つかりません。



事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	追加指定地8,140.36㎡のうち民有地4603.74㎡を取得した。	追加指定地8,140.36㎡のうち民有地485㎡の公有地化を実施する。	
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	59,736	14,603
	国・県支出金	51,770	12,655
	地方債	7,100	1,700
	その他		
	一般財源	866	248
	歳入合計	59,736	14,603

課題	追加指定地は現在民有地であり、遺跡の適切な保護・活用を将来行っていくことが困難である。	方向性	公有地化することにより、将来永劫の遺跡保存、幅広い活用が実現する。
----	---	-----	-----------------------------------

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	2,576		
公有財産購入費	11,640		
補償補填及び賠償金	381		
公課費	6		
事業費計		14,603	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	伝統的建造物群保存地区検討事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	美保町美保関の美保神社周辺に残る歴史的なまちなみの保存・活用を通して、住環境や景観の向上を図り、地区の生活や生業、伝統行事等を後世へ継承する。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	数値目標とすることに馴染まない。					
目標（何を達成するのか）	重要伝統的建造物群保存地区の選定と補助制度導入による歴史を活かしたまちづくり					

**事業概要**

①伝統的建造物群は、文化財保護法により「周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値の高いもの」とされる文化財である。市が伝統的建造物である建築物や工作物と共に、これと景観上密接な関係にある樹木、池、石垣等を特定し、これらを含む歴史的なまとまりをもつ地区を、「伝統的建造物群保存地区」（伝建地区）として決定し保存を図る。そのうち、市から国へ申出をし、わが国にとって特に価値が高いと判断されると「重要伝統的建造物群保存地区」（重伝建地区）に選定され、地区内の建築物等の修理・修景、防災事業等の経費の補助を受けることができ、歴史的資源をいかしたまちづくりを行うことができる。

②美保神社の周辺地区の歴史的なまちなみについて、伝統的建造物群及びこれと一体をなす周囲の環境の歴史的風致の固有性を明らかにし、保存・活用構想の策定を行うため、国庫補助事業で「保存対策調査」を実施し、伝建地区の決定に向けた住民の合意形成を図る。

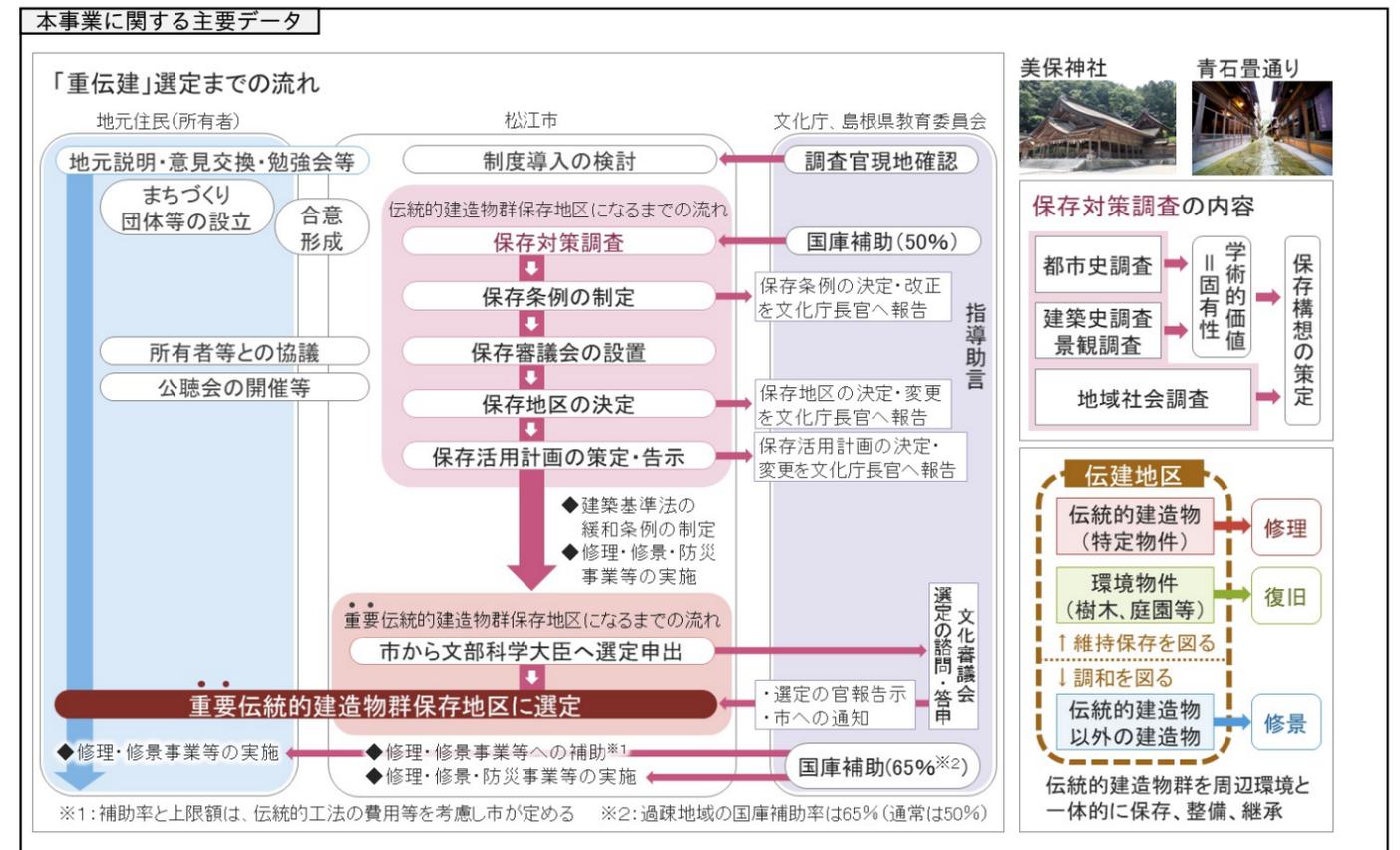
	R4実績見込	R5計画	R6計画
<b>事業計画</b>	①住民座談会（勉強会、調査経過報告等） ②住民対話の場 月1回程度「おかえりカフェ」 ③住民先進地視察 ・島根県大田市温泉津地区 9月 ・広島県福山市鞆地区 3月 ④文化庁補助事業 保存対策調査（2か年の1年目） ⑤住民組織の設立	①住民座談会（勉強会、調査結果報告、講演会等） ②住民対話の場「おかえりカフェ」 ③住民先進地視察 ・島根県大田市大森地区 ・広島県呉市御手洗地区 ④保存対策調査（2年目）報告書作成 ⑤住民組織設立・運営 ⑥有識者検討委員会設立・運営 ⑦市民対象美保関バスツアー ⑧文化庁協議 ⑨文化庁主催伝建担当職員研修 ⑩条例及び保存活用計画等準備	①保存条例制定 ②保存活用審議会設置 ③保存地区の決定 ④保存活用計画（案）の策定
達成度	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R4	R5
	決算見込	当初予算
事業費	2,761	4,377
国・県支出金	1,034	1,531
地方債		
その他		0
一般財源	1,727	2,846
歳入合計	2,761	4,377

課題	方向性
①住民のまちづくり議論による合意形成が最優先である。 ②重伝建地区では住民の権利制限が生じるため、修理等の保存活用基準を定める段階では住民の主體的参画と理解が必要である。 【制限】建造物等の現状変更に対する規制ほか 【支援】財政支援（建物修理や修景・防災事業等）、税制優遇（固定資産税等の減免）ほか	◆重伝建制度導入による生活環境向上、定住・交流人口確保、産業・伝統行事の継承などの効果を目指す。 【R4～5】保存対策調査、先進地視察、勉強会、住民組織設立、有識者検討委員会設立、文化庁協議 【R6～7】保存条例制定、審議会設置、保存地区決定、保存活用計画策定、国へ重伝建地区選定の申出 【R8】国から重伝建地区選定、事業着手

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史・文化を活かしたまちづくり

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	保存対策調査・報告書作成	9月	住民視察①（大森）、中四国伝建担当者研修
	6月	住民勉強会①（先進地講師招聘）	10月	市民対象美保関バスツアー
	7月	文化庁主催伝建担当者研修	2月	住民視察②（呉市御手洗）
	8月	調査成果報告会、建築基準法適用除外視察	3月	まちなみ講演会、住民アンケート



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	160		
旅費	610		
役務費	31		
委託料	3,102		
使用料及び賃借料	474		
事業費計			4,377

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	国際文化観光都市・松江・森の演劇祭事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史・文化を活かしたまちづくり

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	子どもから高齢者まで様々な人たちが、世界の多様で創造的な表現に触れ、演劇の楽しさや感動を味わうことで豊かな暮らしのつなげるとともに、演劇を通じた文化振興・地域づくりを推進する。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		観客数（人）	2,775			5,000
	目標（何を達成するのか）	来場者数（人）	8,222			13,000
国内外の多様で創造的な演劇作品に触れる機会を提供することで、「まちそのものがアート」を実感していただく。						

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	補助金交付		
	3月	補助事業完了		

事業概要	<p>目標値の達成年度：令和7年度 令和7年度に開催予定の「第8回松江・森の演劇祭」の開催準備事業を支援するもの。</p> <p>■松江・森の演劇祭とは 八雲林間劇場（しいの実シアター）を中心に、平成14年から国内外の劇団を招いて開催される国際演劇祭。概ね3年ごとに開催。演劇のほか、マルシェも開催され、賑わいを創出する。</p>
------	---

本事業に関する主要データ				
— 〈過去の開催実績〉				
	第4回(H22)	第5回(H26)	第6回(H29)	第7回(R4)
期間	11/3~7	10/30~11/3	11/2~5	11/5~13
観客数	4,267人	5,040人	5,156人	2,775人
来場者数	10,955人	13,262人	12,486人	8,222人
公演数	6か国11団体14公演	6か国11団体14公演	5か国14劇団15公演	4か国10団体11公演
※第7回を令和2年に開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、2年延期とした。				

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<p>第7回松江・森の演劇祭開催補助金を松江・森の演劇祭実行委員会に交付。 以下のとおり、第7回松江・森の演劇祭が開催された。 【会場】しいの実シアター、かやぶき交流館ほか 【会期】令和4年11月5日~13日 【公演】4か国11団体12作品 【観客数】2,775人 【来場者数】8,222人 【ボランティア数】420人</p>	<p>第8回松江・森の演劇祭開催準備事業補助金を交付する。 【交付先】 松江・森の演劇祭実行委員会</p>	<p>第8回松江・森の演劇祭開催準備事業補助金を交付する。 【交付先】 松江・森の演劇祭実行委員会</p>
	<p>達成度</p> <p>1 計画目標に向けて順調に推移</p>		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		15,000	5,000
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	15,000	5,000
歳入合計		15,000	5,000

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	5,000		
事業費計			5,000

課題	<p>■令和4年度は文化庁の補助金が不採択となっており、松江市からの補助金以外の財源を確保する必要がある。</p>	方向性	<p>■財源確保のため、国や民間の補助金申請やクラウドファンディングなどを支援する。 ■より多くの方に演劇祭を知っていただき、来場していただくため、情報発信を強化する。</p>
----	---	-----	--

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	わがまち自慢発掘プロジェクト事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地域の歴史文化を伝え残していきたい大切な遺跡などの“お宝”を地図に表現し、広く市民や観光客に紹介することで、地域の歴史文化に対する関心や地域への愛着心を醸成する。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか） まち歩きに参加し、地域の歴史文化に関心を持つ人の増加 まち歩きマップを活用し、まち歩きイベントを実施している公民館数の増加	歴史まち歩き参加者数（年間／人）	216	240	240	400
		まち歩きを開催する公民館数（年間／件）	6	8	8	10

①公民館区毎に作成した地域の“お宝”を掲載する「まち歩きマップ」について、継続して地区活動や市民参加型活動に活用できるように、マップの増刷を支援する。（実施主体は公民館区域ごとのプロジェクトチーム：市は補助金を支出）

②マップを活用した歴史まち歩き事業を市と地域が共同で開催する。住民主体の運営・参加によるマイクロツーリズムの展開を目指す。

（数値目標の目標年度）R11（2029）年度

	R4実績見込	R5計画	R6計画
事業計画	①「まち歩きマップ」増刷補助（3公民館／宍道、法吉、鹿島） ②「歴史のまち歩き」を市と公民館で共同実施 ・R3マップ増刷の6地区で実施 宍部、大野、美保関、八雲、鹿島、大庭（見込参加者数216人（雨の影響あり））	①「まち歩きマップ」増刷補助（3公民館／生馬、白瀧、他1地区） ②「歴史のまち歩き」を市と公民館で共同実施 ・R4マップ増刷地区を含めた8地区で実施予定 大庭、本庄、法吉、大野、乃木、宍道、城北、白瀧（見込参加者数240人）	①「まち歩きマップ」増刷補助 ②「歴史のまち歩き」を市と公民館で共同実施
達成度	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	1,053	1,108
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	1,053	1,108
歳入合計		1,053	1,108

課題

①まち歩きイベントの参加者の割合は高齢者が多いが、広い世代の参加につながる企画と周知が必要である。  
②申込者にはリピーターが増えているが、新規参加者の獲得も必要である。  
③地元ガイドの的人件費や運営経費を捻出するため、参加料を徴収するなど財源を確保する必要がある。

方向性

①コロナ禍中にマイクロツーリズムが注目されたことにより、地域を学び散策したいというニーズが高まった。R3年度、R4年度事業を実施したことで、歴史を学ぶまち歩きのニーズはさらに高まっている。これに応えるため、今後も、歴史文化をテーマにし、各公民館と連携して地域目線でまち歩きを実施していく。  
②歴史文化をテーマごとや時代ごとに分けるなど、様々な人が地域に興味を持てるようまち歩きのスタイルを広げていく。  
③地域物産や特産品を将来の地域資源・文化財になり得るものとして、まち歩きに取り入れ、地域の新たな魅力を創出する。  
④参加者アンケートに基づいて適正な参加料を設定し、サービスの質を高める。

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史・文化を活かしたまちづくり

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～5月	増刷実施地区の選考		
	6～12月	まち歩きマップの記載内容の確認・修正		
	12月～2月	まち歩きマップの増刷補助金の支払い		
	4月～3月	まち歩きの実施（8地区）		

本事業に関する主要データ

歴史のまち歩き事業の実績及び参加者(人)															
参加者	R3							R4							
	雑賀	古江	秋鹿	朝酌	城北	白瀧	計	宍部	大野	鹿島	大庭	美保関	八雲	計	
参加者	29	16	37	39	23	38	182	25	37	37	38	39	40	216	
申込者	37	34	50	47	61	77	306	41	45	53	63	64	50	316	

歴史のまち歩き事業計画(人)															
参加者	R4							R5(予定)							
	宍部	大野	鹿島	大庭	美保関	八雲	計	大庭	本庄	法吉	乃木	大野	宍道	城北	白瀧
参加者	40	40	40	40	40	40	240	20	20	20	40	20	40	40	240

増刷要望地区状況												
作成年度	R3						R4			R5		
	宍部	大野	鹿島	美保関	八雲	大庭	宍道	法吉	鹿島	生馬	白瀧(冊子版)	他1地区
H25	H25	H22	H22	H23	H22	H22	H23	H22	H25	H22	-	
増刷年度	-	-	H26	H24	H26	-	H27	H26、R3	H28	H24	-	
年間使用数	600	200	150	100	200	150	-	100	280	200	0	
部数	400	160	300	29	350	150	0	950	220	300	0	

まち歩き関連事業の実績及び予定(公民館区数…地区)	
	マップ増刷 案内板設置
H22 R1	18 22
R2	6 0
R3	6 2
R4	3 1
R5	3 0

マップ補助率  
・補助率 10分の10  
・上限額 30万円(1地区あたり)

案内板補助率  
・補助率 10分の10  
・上限額 100万円(1地区あたり)



↑(例)宍部まち歩きマップ



↑(参考)R4歴史まち歩きチラン



↑大野地区まち歩きの様子



↑美保関地区まち歩きの様子

R5節別当初予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	130		
需用費	10		
役務費	29		
委託料	39		
負担金補助及び交付金	900		
事業費計		1,108	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	史跡松江藩主松平家墓所整備事業費補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	史跡松江藩主松平家墓所は、樹木による遺構の毀損、建築物の老朽化、排水施設の機能不全などの課題を抱えている。文化財の本質的価値を将来に亘って望ましい状態で保存し、公開活用するための整備を行う。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか） ・近世大名墓所としての価値を保存するための復旧整備を行う。 ・文化財的価値が損なわれない範囲で公開活用の整備を行う。	数値目標とすることに馴染まない。				

事業概要
<p>【全体計画】 宗教学人月照寺が行う整備事業に対して、国・県とともに市として補助を行う。</p> <p>■整備基本計画（R2.3月策定）に基づく整備を行う。 ・文化財の本質的価値を保存するための整備（近世から残る建造物・建造物の保存修理、危険木の伐採、排水施設整備など） ・文化財を公開活用するための整備（環境整備、植生の整理、便益施設・サイン等の整備など）</p> <p>■整備検討委員会を開催し、整備に関する指導を受ける。</p> <p>■事業期間：平成30年度～令和11年度（平成30年度、令和元年度は先行実施事業）、総事業費：491,203千円 ■令和5年度事業費50,460千円（国補助：25,230千円、県補助8,410千円、市補助：8,410千円、所有者8,410千円）</p> <p>【事業費】 平成30年度（実績）：11,667千円（うち市負担：1,971千円） 令和元年度（実績）：17,738千円（うち市負担：3,515千円） 令和2年度（実績）：32,336千円（うち市負担：5,967千円） 令和3年度（実績）：51,271千円（うち市負担：8,545千円） 令和4年度（見込）：49,755千円（うち市負担：8,293千円）</p>

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>御霊屋保存修理工事（3ヵ年計画の3年目、6月竣工）</li> <li>水路修復工事（2ヵ年計画の2年目）</li> <li>支障木伐採工事（2ヵ年計画の2年目）</li> <li>五代廟門保存修理工事</li> <li>石造物修復工事</li> <li>参道修復工事実施設計</li> <li>初代廟門土塀保存修理工事実施設計</li> <li>整備検討委員会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参道修復工事（2ヵ年1年目）</li> <li>初代廟門土塀保存修理工事</li> <li>支障木伐採工事実施設計</li> <li>初代廟所水路修復工事実施設計</li> <li>整備検討委員会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参道修復工事（2ヵ年2年目）</li> <li>支障木伐採工事</li> <li>初代廟所水路修復工事</li> <li>整備検討委員会の開催</li> </ul>
	達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		8,410
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	8,410
歳入合計		0	8,410

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>史跡全体を整備するため長期間にわたる事業であり、所有者にとって多額の費用が大きな負担となっている。</li> <li>所有者に国庫補助事業を施行するノウハウがないため、市からの支援が必要である。</li> <li>国庫補助金が要望通り配分されない状況となっており、事業進捗に支障をきたしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備基本計画に則って事業が進められるよう、所有者を支援していく。</li> <li>事業に必要な補助金を確保するため、引き続き国・県に対して要望していく。</li> </ul>

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史的建造物など文化財の保全・活用推進事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～翌年3月	参道修復工事	4月、翌年3月	整備検討委員会の開催
	4月～翌年3月	初代廟門土塀保存修理工事		
	4月～翌年3月	支障木伐採工事実施設計		
	4月～翌年3月	初代廟所水路修復工事実施設計		

本事業に関する主要データ



石敷の消失がみられる



石敷の浮きが見られる

参道修復工事



平成29年度に倒壊したままとされている。



土塀が奥側に倒れかかっている。

初代廟門土塀保存修理工事

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	8,410		
事業費計		8,410	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	重文木幡家住宅保存修理（第2期）事業費補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	重要文化財木幡家住宅の指定建造物13棟は、経年劣化の進行が顕著となっている。第1期事業で修理した蔵3棟以外の建造物の保存修理を行い、その文化財価値を後世に確実に引き継ぐ。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）	数値目標とすることに馴染まない。				
	近世から明治にかけての重要文化財建造物としての価値を保存し、将来へ引き継ぐ。文化財的価値を保つとともに、公開活用に向けて計画を策定していく。					

事業概要	<p>重文木幡家住宅を構成する指定建造物13棟のうち、第1期事業で修繕した蔵3棟（新蔵・米蔵・三階蔵）以外の建造物（主屋・新座敷棟・飛雲閣・新奥座敷棟・奥座敷棟・湯殿・御成門・行啓門・資材蔵・裏門、宅地）について、所有者が実施する保存修理事業に対して、国・県とともに市として補助を行う。併せて、保存活用計画策定事業に対して、市として補助を行う。</p> <p>【主屋ほか10棟保存修理事業】 事業期間：令和4年度～12年度、総事業費：1,285,000千円（うち市負担64,250千円）</p> <p>【保存活用計画策定事業】 事業期間：令和5年度～12年度</p>
------	---

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<p>【保存修理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主屋：半解体修理</li> <li>（附）資材蔵：解体修理</li> </ul>	<p>【保存修理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主屋：半解体修理</li> <li>（附）湯殿：解体修理</li> <li>（附）資材蔵：解体修理</li> <li>（附）裏門：解体修理</li> <li>（附）御成門：解体修理</li> <li>（附）行啓門：解体修理</li> <li>塀：解体修理：解体修理</li> </ul> <p>【保存活用計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概要作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主屋：半解体修理</li> <li>（附）湯殿：解体修理</li> </ul>
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	500	6,428
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	500	6,428
歳入合計		500	6,428

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期事業では10棟の建造物の修理が必要であり、所有者に多額の負担が生じる。</li> <li>狭い敷地に複数の建物が密集して建っているため、修理方針の決定や修理工事に高度の知識や技術を要する。</li> <li>第2期事業では、保存修理工事とあわせて、防災、活用と合わせて検討、進めていく必要がある。</li> <li>第2期事業の修理方針の決定に合わせ、保存活用計画（敷地全体の防災計画、修理後の活用計画等）をまとめる必要がある。</li> </ul>	方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助事業を確実に履行するために、修理委員会にてスムーズかつ適切な事業実施のための所有者のサポートを行う。</li> <li>所有者の意向を各種計画に確実に反映させるために、国、県、市、設計監理業者間で密に連携をとり、保存活用計画の概要をまとめる。</li> <li>事業に必要な補助金を確保するため、引き続き国・県に対して要望していく。</li> </ul>
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史的建造物など文化財の保全・活用推進事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～翌3月	主屋：半解体修理	4～6月	附・御成門、行啓門、塀：解体修理
	4～翌3月	附・湯殿：解体修理	4～翌3月	保存活用計画策定
	4～翌3月	附・資材蔵：解体修理		
	4～翌3月	附・裏門：解体修理		

**本事業に関する主要データ**

重要文化財木幡家住宅保存修理（2期）事業 主な対象建造物

（左から順に 上段：主屋、新座敷、飛雲閣、新奥座敷 中段：奥座敷、湯殿、御成門、行啓門 下段：塀、裏門、資材蔵）

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	6,428		
事業費計			6,428

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	歴史的建造物保全継承事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	歴史的なまちなみを形成している古い建造物（歴史的建造物）の滅失を防ぐために、所有者との協働により保全継承し活用することで、歴史的資源を生かしたまちづくりを進める。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		歴史的建造物登録数（件）	0	2	1	20
	目標（何を達成するのか）	2次調査数（件）	0	2	1	70
歴史的建造物登録認定数 20件						

**事業概要**

①市内にある指定文化財以外の歴史的建造物のうち「松江市歴史的風致維持向上計画」の重点区域である旧城下町エリア・美保関エリア・宍道エリアにあるもの及び国の登録有形文化財を対象として、保全継承し活用を図る。  
 ②建物調査の結果をもとに、所有者の同意を得て「松江市歴史的建造物保全活用審議会」で調査審議し登録を行う。  
 ③登録後、市と所有者で保全契約を締結し、所有者が行う外観保全等にかかる工事費の一部を補助する。  
 ④活用について、個々の建造物をまち歩きコースに設定するなど面的に広げ、併せてまち歩きガイドなどの人材育成を図り、歴史的資源を生かしたまちづくりを進めていく。  
 ⑤ヘリテージマネージャー（地域に眠る歴史文化遺産を発見し、保存し、活用して、地域づくりに活かす能力を持った人材）や関係団体との連携を強化する。  
 （数値目標の目標年度）R11（2029）年度

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	①歴史的建造物の登録【0件】 ②修繕工事補助【0件】 ③審議会の開催 なし ④歴史的建造物を巡るまち歩き（11月旧城下町、3月美保関） ※コロナ保健所対応のため事業縮小	①歴史的建造物の登録【2件】 ②建造物2次調査【2件】 ②修繕工事補助【2件】 ③審議会の開催【1回】 ④歴史的建造物一斉公開イベント	①歴史的建造物の登録【1件】 ②建造物2次調査【2件】 ②修繕工事補助【2件】 ③審議会の開催【1回】 ④歴史的建造物一斉公開イベント
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		49	7,399
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他	0	6,040
	一般財源	49	1,359
歳入合計		49	7,399

課題	方向性
①歴史的建造物の空き家化や除却により良好なまちなみ環境が損なわれる状況があるため、引き続き所有者の理解を得て登録及び保全継承を図る必要がある。 ②登録した歴史的建造物については、所有者による保全と有効な活用策を支援していく必要がある。 ③財源である「松江市歴史まちづくり基金」が枯渇した後（令和12年度見込）の代替策を検討する必要がある。	①歴史的建造物の登録を進め、所有者に対する外観保全等の修繕費の補助を行うことで、良好なまちなみ環境を維持向上させる。 ②所有者と共に登録歴史的建造物の活用を図り、歴史的資源を生かしたまちづくりを進める。 【活用事例】 ○歴史的建造物を巡るまち歩き ○宿泊施設（一棟貸し等） ○商業施設（飲食、物販等）

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史的建造物など文化財の保全・活用推進事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～3月	登録候補建造物の公募	2～3月	登録・保全契約締結
	4～3月	修繕工事（補助）	6月及び3月	歴史的建造物一斉公開イベント・まち歩き
	5～9月	建造物2次調査（内部調査）	3月	登録プレート設置
	11～1月	歴史的建造物保全活用審議会開催（1回）		

**本事業に関する主要データ**

■登録実績 (単位：件)										■調査実績 (単位：件)			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計		1次調査 (外観目視) H26～H28	2次調査 (実測・作図) H26～R4		
旧城下町エリア	3	2	2	2	-	2	-	11	旧城下町エリア	783	23		
美保関エリア	-	3	-	-	2	-	-	5	美保関エリア	88	17		
宍道エリア	-	-	-	-	-	-	-	0	宍道エリア	76	15		
上記エリア以外の登録有形文化財	-	-	1	-	-	-	-	1	登録有形文化財	-	2		
合計	3	5	3	2	2	2	0	17	合計	947	57		

■修繕補助金交付の推移 (松江市登録歴史的建造物保全継承事業補助金) R4以降は見込 (単位：千円)																
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
補助件数	0	1	3	3	2	1	0	2	2	1	1	1	1	1	1	
補助金額(千円)	0	784	9,493	6,222	6,000	2,882	0	6,000	6,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	1,703	

【内容】登録歴史的建造物の外観保全等に係る工事費の補助  
 1件当り建造物 上限額3,000千円、工作物 上限額2,000千円 / 補助率3分の2

■歴史まちづくり基金の推移 R4以降は見込 (単位：千円)																
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
基金現額	60,000	60,004	59,280	49,793	43,578	37,582	34,701	34,702	28,703	22,703	19,703	16,703	13,703	10,703	7,703	
取崩し額(▲)	0	▲784	▲9,493	▲6,222	▲6,000	▲2,882	0	▲6,000	▲6,000	▲3,000	▲3,000	▲3,000	▲3,000	▲3,000	▲1,703	
利子積立額	4	60	6	7	4	1	1	1								
基金残額	60,004	59,280	49,793	43,578	37,582	34,701	34,702	28,703	22,703	19,703	16,703	13,703	10,703	7,703	6,000	0

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	49		
報償費	61		
旅費	30		
需用費	3		
役務費	13		
委託料	1,243		
負担金補助及び交付金	6,000		
事業費計		7,399	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部松江城・史料調査課	文化財デジタルアーカイブ構築事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江に残る豊富な文化財の情報に接する機会を広げて、文化財情報へのアクセスを容易にすることで、文化財への関心や理解を深めていく。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	文化財データベース導入箇所数（箇所）	1	2	3	6	
	目標（何を達成するのか）					
	・文化財情報のデジタル化を推進する。 ・デジタル化した文化財情報の集約（一元化）を図る。					

事業概要
<p>（数値目標の目標年度）                  項目名 文化財データベースの導入箇所数：2027（R9）                  松江に所在する豊富な文化財の情報をデータ化（デジタル化）するとともに、松江市の博物館、資料館、文化財所管部局で共通の文化財データベースシステムにデータを登録することで文化財情報を一元化して松江版文化財デジタルアーカイブを構築する。                  （※松江歴史館は既に収藏品データベースシステムを導入・運用している）                  【全体計画】                  毎年度1箇所ずつデータベースを導入（令和5年度は鹿島歴史民俗資料館）                  【事業内容】                  文化財情報のデータ化、データベースへのデータ登録・公開</p>

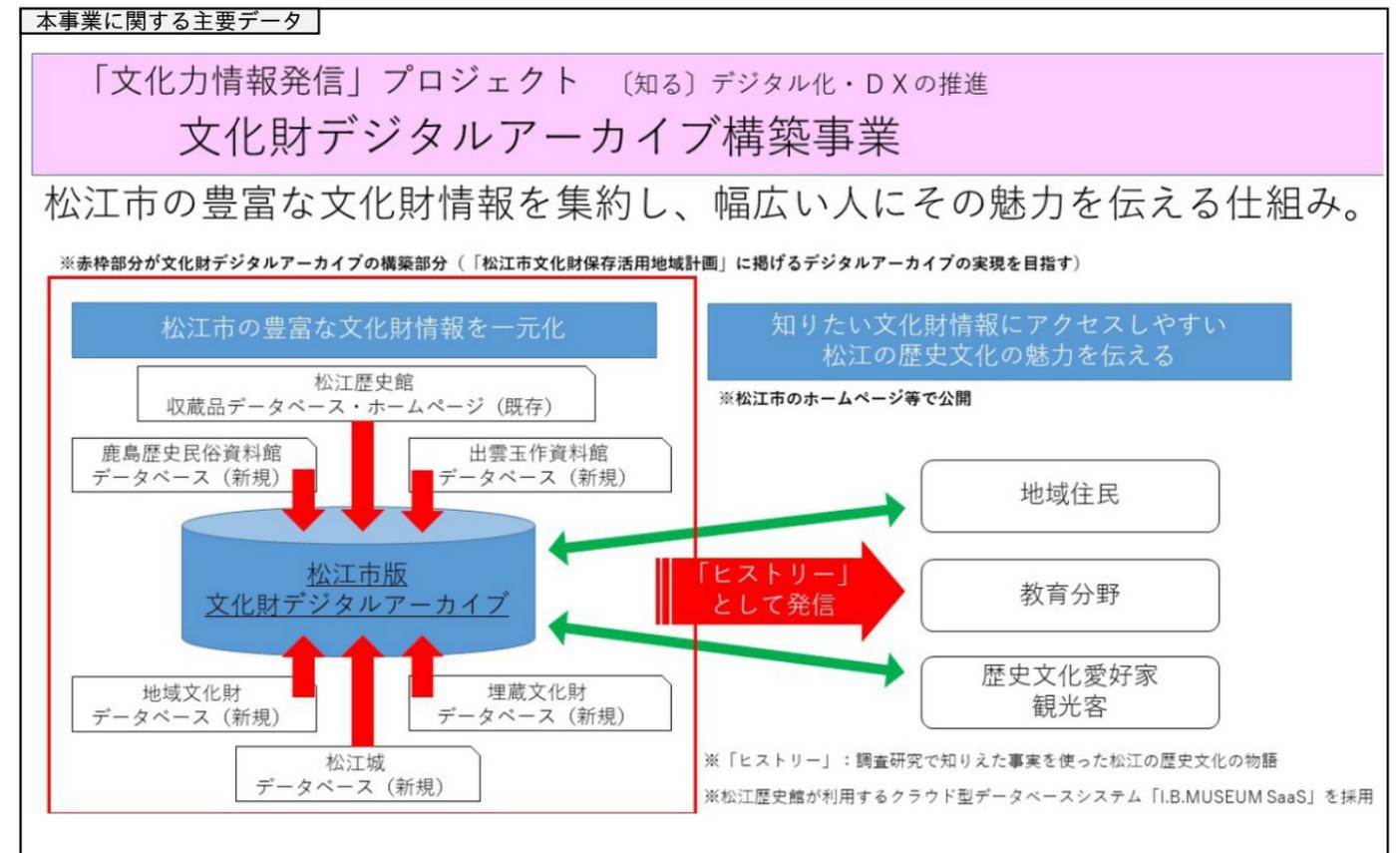
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
		○鹿島歴史民俗資料館への収藏品データベースシステムの導入 ○鹿島歴史民俗資料館等の文化財情報のデータ化 ○鹿島歴史民俗資料館の収藏品データベースへのデータ登録・公開 （無料ガイドアプリを用いた佐陀神能の解説情報の発信も）	○松江に所在の指定文化財情報に関するデータベースシステムの導入、データ化、データベースへのデータ登録・公開
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		2,000
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	2,000
歳入合計		0	2,000

課題	方向性
○松江に所在する豊富な文化財の情報を一元化して効果的に発信する環境整備が必要。 ○事業推進にあたっての市役所内部での体制整備が必要。	○一元化したデータベース（デジタルアーカイブ）を松江市のホームページ等で公開する。 ○文化財セクション横断的なチーム編成を行い、利用しやすいデジタルアーカイブの構築を図る。

松江版総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	文化財情報デジタル化推進事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	鹿島歴史民俗資料館への収藏品データベースシステムの導入	9月下旬	佐陀神能の無料ガイドアプリ運用開始
	4～6月	鹿島歴史民俗資料館等のデータベースの分類検討		
	4～3月	文化財情報のデータ化		
	9月	鹿島歴史民俗資料館のデータベースへのデータ登録・公開		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	2,000		
事業費計			2,000

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部松江城・史料調査課	国宝松江城調査研究事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）		数値目標			
	「誰もが松江の歴史文化を誇りに思い、こころ豊かになれるまち」実現のため、けん引役として松江城の調査研究をより一層推進し、その価値を高め、成果を広く発信し、行政各分野の施策にも積極的に貢献していく。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		松江城天守登閣者数【4月～3月】（人）	445,000	450,000	455,000	500,000
	目標（何を達成するのか）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>調査研究による新たな事実の解明による学術的価値の向上。</li> <li>正確かつ最新の調査研究成果の発信による知名度の向上。</li> <li>関係市・県・研究者との共同研究による世界文化遺産登録の実現。</li> </ul>						

事業概要	<p>（数値目標の目標年度）</p> <p>項目名 松江城登閣者数：2029(R11)</p> <p>調査研究を通じて、松江城の学術的価値を高めるとともに、その成果を積極的に情報発信する。</p> <p>1) 調査研究事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>松江城調査研究委員会を中心に、天守のみならず、城郭、城下町全体の調査研究を行う。</li> </ul> <p>2) 世界遺産登録推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>松本市、犬山市で構成する近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会において、共同研究を行い、世界遺産登録推進を図る。</li> </ul> <p>3) 情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シンポジウム・講演会の開催、研究成果を分かりやすくまとめた書籍の発行を通じて、最新かつ正確な情報発信を行う。</li> </ul>
------	---

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>松江城調査研究委員会の開催</li> <li>建築史部会、城郭史部会、絵図・地図・文献部会での調査研究</li> <li>『論集 松江城（1）』『松江城ブックレット5（改訂版）』『松江城ブックレット6』の発刊</li> <li>近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会への参画、共同研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>松江城調査研究委員会の開催</li> <li>建築史部会、城郭史部会、絵図・地図・文献部会での調査研究</li> <li>『松江城研究5』『松江城関係資料集5』『松江城ブックレット7』の発刊</li> <li>ICOFORT研究会議・日中韓共同研究への協力</li> <li>近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会への参画、共同研究</li> <li>松江城（世界遺産）講座の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>松江城調査研究委員会の開催</li> <li>建築史部会、城郭史部会、絵図・地図・文献部会での調査研究</li> <li>『松江城研究6』『松江城関係資料集6』『松江城ブックレット8』の発刊</li> <li>ICOFORT研究会議・日中韓共同研究への協力</li> <li>近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会への参画、共同研究</li> <li>松江城（世界遺産）講座の開催</li> </ul>
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		14,556	14,394
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債	0	
	その他	75	75
	一般財源	14,481	14,319
歳入合計		14,556	14,394

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産登録を見据えた世界的見地からの調査・研究が求められる。</li> <li>松江城に関する調査研究レベルの維持向上のための継続的な取組みが必要。</li> <li>市民の機運醸成が求められる。</li> </ul>	方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際会議の松江開催、外国語媒体の書籍刊行、海外専門家との共同研究などを通じて、調査研究に国際的な視点を取り込む。</li> <li>基礎研究を継続的に実施し、その成果を広く発信し、観光など市政全般にも反映させる。</li> <li>講座の開催など啓発活動に取り組む。</li> </ul>
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	国宝松江城調査研究事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	随時	松江城調査研究委員会 専門部会での個別調査	10月	松江城調査研究委員会
	随時	各専門部会の開催	10月	松江城（世界遺産）講座
	5月	世界遺産登録推進会議準備会 総会	3月	各出版物刊行
	7月～2月	世界遺産登録推進会議準備会 専門家会議（WG）3回		

本事業に関する主要データ

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和2～3年度は登閣者数が大幅に減少

松江城調査研究の成果発信に関する出版物

シリーズ名	概要
松江城研究	松江城に関する最新の研究論考をまとめた紀要
松江城関係資料集	図面集、天守古材の集成など松江城に関する資料集
松江城ブックレット	松江城に関する専門的な内容を各分野の専門家が分かりやすく叙述したブックレット

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	1,841	負担金補助及び交付金	3,562
職員手当等	384		
共済費	377		
報償費	2,622		
旅費	1,890		
需用費	3,588		
役務費	130		
事業費計		14,394	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部松江歴史館	松江歴史館展示企画事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江の歴史・文化に関わる展覧会の開催などにより、松江の新たな魅力を発信することで、郷土愛の醸成を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）	松江歴史館観覧者数（人）	51,000	52,000	53,000	60,000
	調査研究成果を活かした魅力ある展覧会の開催とともに、観覧者数の増加を図る。					

事業概要	（数値目標の目標年度） 松江歴史館観覧者数（人）：2029（R11）年度 60,000人
	松江の歴史や文化を市民や観光客に知っていただくため、松江に深く関わりのあるテーマを題材とした展覧会を年4回開催する。 このうち、特別展はその年度の最も規模の大きな展覧会である。 企画展では県外の普段見られない資料や地元の資料を中心に展示する。 また、年1回は館蔵品展を開催する。

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	〔特別展・企画展開催予定〕 ①企画展「出雲の民藝－『健康な美』を求めて－」 ②企画展「松江今昔－美術と文学にみる風景のうつろい－」 ③特別展「古代出雲の中心地・松江－田和山・神後田から国府・国分寺へ－」 ④館蔵品展「平塚運－いざ摺らん」	〔特別展・企画展開催予定〕 ①企画展「出雲国の白隠・大雅・風外－往来する禅と書画－」 ②企画展「みんなの小学校 150年の歩み」 ③特別展「漆壺斎と勝軍木庵－花開く松江の漆文化－」 ④館蔵品展「明治時代のサムライたち－松江藩士の行く末－」	
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	16,863	15,621
	国・県支出金	3,135	2,873
	地方債	0	
	その他	10,460	12,748
	一般財源	3,268	0
歳入合計		16,863	15,621

課題	アフターコロナを見据え、効果的な広報を実施し、より多くの方に展覧会を周知する必要がある。また、興味を持ってもらえるような工夫が必要である。	方向性	より一層市民に関心を持ってもらえるように、調査・研究の成果をさらにわかりやすく展示をしていく。 また、公開承認施設の利点を活かして、国宝・重要文化財をはじめとする貴重な資料を展示し、歴史や文化に対する関心を高めていく。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	松江歴史館展示企画事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～6月	企画展「出雲国の白隠・大雅・風外」		
	7月～9月	企画展「みんなの小学校 150年の歩み」		
	10月～12月	特別展「漆壺斎と勝軍木庵」		
	1月～3月	館蔵品展「明治時代のサムライたち」		

本事業に関する主要データ

令和5年度 松江歴史館〔企画展・特別展〕

**4.28（金）▶6.25（日）** 企画展

**出雲国の白隠・大雅・風外**  
－往来する禅と書画－

池大雅の生誕300年を記念し、当地ゆかりの作品を紹介する。また大雅の禅の師である白隠や、大雅ゆかりの寺の住職たち、そして大雅から多大な影響を受けたことで知られ、出雲地方にもたびたび訪れた僧・風外本高も紹介する。



「鶴雲飛渡図」池大雅画（個人蔵）

**10.20（金）▶12.10（日）** 特別展

**漆壺斎と勝軍木庵**  
－花開く松江の漆文化－

江戸時代、松江藩松平家7代目藩主松平治郷（不昧）の美意識を反映した作品を制作した初代・小島漆壺斎と、松江藩松平家9代目藩主松平斎貴のお抱え時絵師で豪華な高時絵を得意とした勝軍木庵光英。対照的な両者の作品を一堂に会し、松江藩における漆芸文化を再確認する。



「菊文様」初代小島漆壺斎作（当館蔵）

**7.21（金）▶9.24（日）** 企画展

松江市小学校開校150周年

**みんなの小学校 150年の歩み**

松江市では、明治6年4月に初めて難波町の洞光寺庫裡内に小学校が置かれた。以来、各町に開校し、制度の改変や統合分離を繰り返して現在に至る。本展では、松江の小学校に残る教育資料や写真から150年間の学校のあゆみを振り返る。



「北郷小学校の運動会 昭和8年」  
(当館蔵)

**1.26（金）▶3.31（日）** 館蔵品展

**明治時代のサムライたち**  
－松江藩士の行く末－

政庁としての役目を終えた松江城の明治時代の姿を紹介し、社会の変革期である明治時代の旧松江藩士の生き様から、働き方の多様性・生活様式の変化が進む現代社会を顧みる。



「明治20年代の松江城天守」  
(当館蔵)

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	613		
旅費	353		
需用費	612		
役務費	312		
委託料	13,721		
使用料及び賃借料	10		
事業費計		15,621	

# 令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会生涯学習課	総合文化センター整備費, 総合文化センター整備費 (継続費)

事業の目的と目標	目的 (何のために)	数値目標				
	プラバホールと中央図書館の複合施設である総合文化センターにおいて、市民の教養の向上と芸術の創造普及を図り、もって文化の発展に寄与するため。	項目 (成果指標)	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標 (何を達成するのか)	プラバホール施設利用者数 (人)	0	7,400	85,000	120,000
	常に建物を適正な状態に保つとともに、施設の長寿命化、事故によるリスクの低減を図る。芸術文化活動や学びの拠点として、より市民に親しまれる居心地の良い環境づくりを行う。					

事業概要
<p>(数値目標の目標年度)                  項目名 プラバホール施設利用者数 : 2029 (R11) 年度</p> <p>東日本大震災における天井の脱落被害等を受け建築基準法施行令が改正されたことなどを踏まえ、<b>遵法改修</b>や<b>耐震改修</b>を行い、総合文化センターの安全性を確保する。                  あわせて、総合文化センターが松江市における文化振興・学びの拠点としての役割をこれからも担うことができるよう、空調設備更新など<b>保全改修</b>や、<b>トイレ洋式化</b>など改善改修を行う。</p> <p>令和3年度 実施設計                  令和4・5年度 大規模改修工事、パイプオルガンオーバーホール</p>

	R4実績見込	R5計画	R6計画
事業計画	・大規模改修工事 【R4,5継続費】2,223,024千円 【うちR4継続費分】 工事費 871,641千円 工事監理 17,569千円  ・工事に伴う備品等の養生、移動 【R4単年度】 委託料 592千円	・大規模改修工事 【R4,5継続費】2,223,024千円 【うちR5継続費分】 工事費 1,307,461千円 工事監理 26,353千円  ・大規模改修工事に伴う備品購入 34,030千円 ・パイプオルガンオーバーホール 56,488千円 ・オーバーホール仮設委託 3,630千円 ・工事完了後の備品再移動等 1,551千円	・4月全館リニューアルオープン
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位:千円)	R4	R5
	決算見込	当初予算
事業費	889,802	1,429,513
国・県支出金	0	0
地方債	868,100	1,302,100
その他	0	60,000
一般財源	21,702	67,413
歳入合計	889,802	1,429,513

課題	方向性
・令和5年10月に中央図書館、一部貸館施設を再開、また令和6年4月に全館再開予定であり、リニューアルオープンに関する周知を適切に行うなど、再開に向けた準備を行っていく必要がある。	・市報、HP等により利用再開に向けた情報発信を行う。 ・工事関係者や庁内関係課と適切に連携をとり、再開に向けた準備を行っていく。

## 教育委員会生涯学習課 総合文化センター整備費, 総合文化センター整備費 (継続費)

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	文化芸術の拠点施設としてのプラバホール再整備

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～12月	大規模改修工事		
	10月	中央図書館、一部貸館施設再開		
	11月～2月	パイプオルガンオーバーホール		

### 本事業に関する主要データ

#### 背景・位置付け

東日本大震災 (H23年)、建築基準法施行令改正 (H26年)

東日本大震災において、大規模空間を有する建築物の天井が脱落した事象が多発したことなどから、建築物等のさらなる安全性を確保するため、建築基準法施行令が改正された。

**公共施設適正化計画**  
 市内の文化ホールの中核施設として「伝統」の方向性としている。

**総合計画**  
 基本施策「観光文化産業の魅力向上とインバウンド強化」の展開方針に「音楽の拠点施設としてのプラバホール再整備」を掲げている。

**伝統文化芸術振興計画**  
 「伝統文化芸術振興計画」において、「伝統文化芸術活動の拠点となる施設」に位置付けている。

#### 建物概要

松江市総合文化センター

- ◆竣工年月 昭和60年(1985年)11月
- ◆敷地面積 10,981.02㎡
- ◆建築面積 4,690.73㎡
- ◆延床面積 7,606.67㎡
- ◆構造種別 鉄筋コンクリート造
- ◆建物階数 一部鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造
- ◆一部地下階、地上2階

#### 目的

◆東日本大震災における天井の脱落被害等を受け建築基準法施行令が改正されたことなどを踏まえ、遵法改修や耐震改修を行い、総合文化センターの安全性を確保する。  
 ◆また、築後35年以上が経過している総合文化センターについて、これからは市民の芸術文化活動や学びの拠点としての役割を担うことができるよう、長寿命化、安全性の向上、利用者等のニーズへの対応などを行う。

#### 改修内容

- 遵法改修  
施設の竣工以降に行われた各種法改正に準拠する改修  
既存EV違法化、外壁タイル剥離防止、アスベスト対策等
- 耐震改修  
施設の耐震性を確保するための改修  
大ホール・ホール・ホール天井改修、図書架棚耐震対策等
- 保全改修  
施設を使い続けるための長寿命化の改修  
屋上防水工事、館内一部LED照明化、空調設備更新等
- 改善改修  
市民、施設利用者及び管理上のニーズの変化に対応する改修  
大ホール音響性能改善、録音機器設置、客席椅子改修、多目的室整備、種別改修、学習室整備、授乳室整備、トイレ洋式化等

#### 経過・スケジュール

- プラバホール利用者懇談会での意見聴取 (H27年度)
- 基本設計 (H29年度)
- プラバホール利用に関するアドバイザー会議 (H30年度)
- 松江市における図書館のあり方検討委員会 (R元年度)
- 実施設計 (R3年度)
- 改修工事 (R4～R5年度)

臨時休館期間 R4年4月～R5年度末(予定)  
 ※中央図書館はR5年10月に再開予定  
 休館中の図書館サービスについては代替サービスを実施

#### 関連会議の概要

プラバホール利用に関するアドバイザー会議 (H30年度)

【目的】市民誰もが音楽文化に親しめる機会と環境の提供、良質な音楽の提供など、松江市の音楽文化の発展に資するための今後のプラバホールの果たす役割について、専門的有識者から助言を得た。

【構成】音楽関係、舞台関係、ホール運営関係、ホール改修関係 7名

【主な意見】  
 ◆「豊かで美しい暮らし」を活かしたホールのブランド化  
 ◆客席の改修(椅子の幅及び前後の遊動幅の確保等)  
 ◆施設全体がひとつの広場、居場所になる仕掛けづくり  
 ◆ホワイエの多目的利用  
 ◆練習・リハーサル室等の場の確保

松江市における図書館のあり方検討委員会 (R元年度)

【目的】今後の松江市における図書館のあり方について、広く市民の意見を聴取した。

【構成】学識経験者、地域代表、子育て世代、企業関係、学生、まちづくり関係等 15名

【主な意見】  
 ◆学習スペースの確保(1人学習、ラーニングコミュニティ)  
 ◆独立した子どもスペースの設置  
 ◆誰もが使いやすい環境整備(トイレなど)  
 ◆休憩・飲食スペースの設置  
 ◆小売八割に関する資料の活用  
 ◆駐車場の無料時間延長(2時間程度)

R5節別当初予算額内訳 (千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	88,022		
備品購入費	34,030		
工事請負費	1,307,461		
事業費計			1,429,513

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	市民美術展開催事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	幅広く市民の美術への理解と関心を深めるとともに、発表、鑑賞の機会を確保し市民文化の向上を図る	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		来場者数（人）	1,061	1,725	1,800	1,800
	目標（何を達成するのか）	出品数（点）	140	160	180	200
市民が創作した芸術作品を募集し、市民美術展を開催する。						

事業概要	<p>市民から広く美術作品を公募して美術展を開催することにより、幅広く市民の美術に対する理解と関心を深めるとともに、市民文化の向上を図る。</p> <p>◆日時：令和5年8月29日～9月4日</p> <p>◆部門：5部門（書、日本画、洋画、写真、工芸）</p> <p>◆会場：島根県立美術館</p> <p>◆主催：松江市民美術展実行委員会</p>
------	---

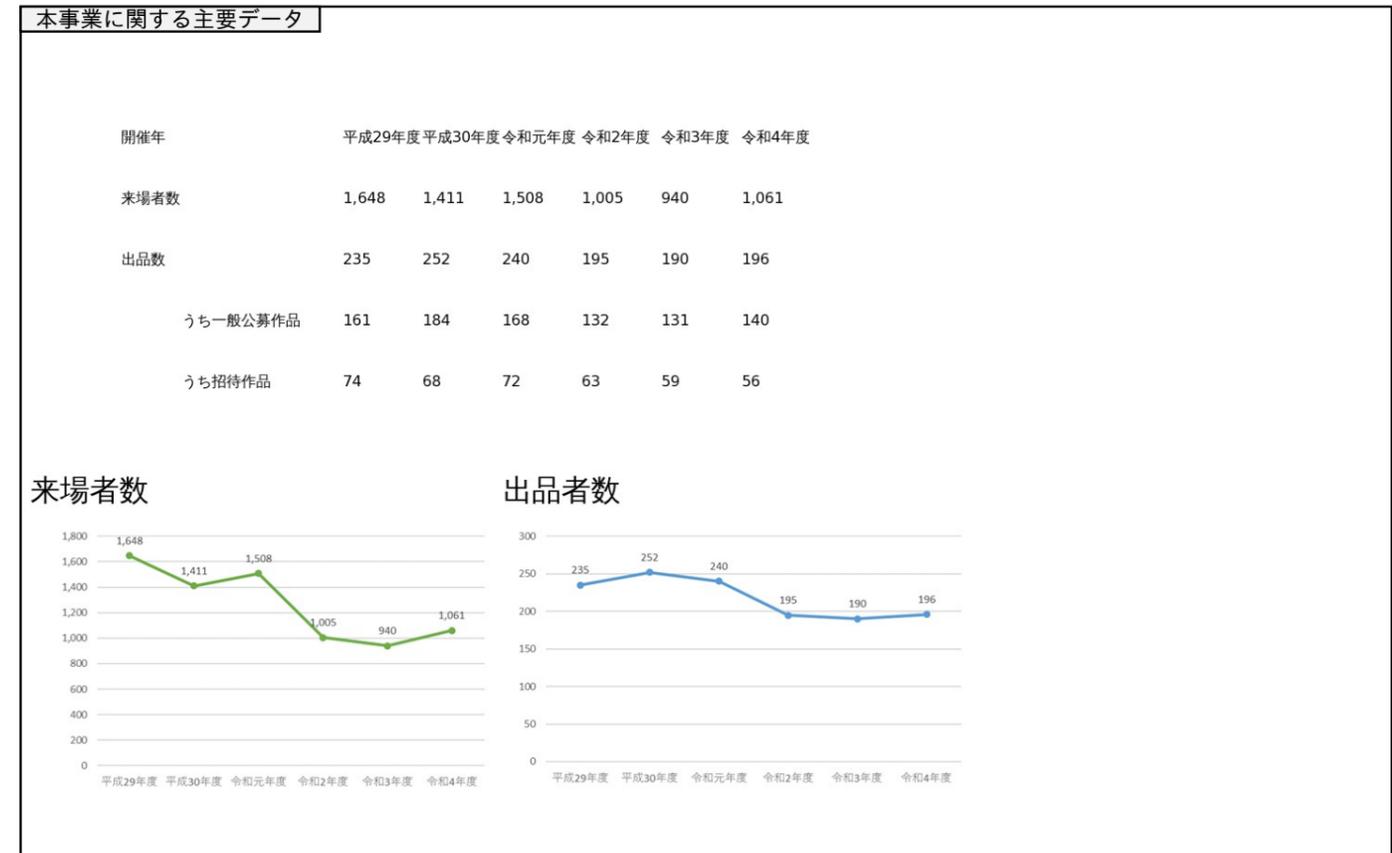
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<p>■第50回市民美術展開催■</p> <p>会期：9月1日(木)～5日(月)</p> <p>会場：島根県立美術館</p> <p>洋画、日本画、写真、書、工芸の5部門ごとに市長賞、優秀賞、奨励賞、佳作を選考し、表彰した。</p> <p>出品数：196点（うち一般公募作品：140点、招待作品：56点）</p> <p>来場者数：1,061人</p>	<p>■第51回市民美術展開催■</p> <p>会期：8月29日～9月4日</p> <p>会場：島根県民会館</p> <p>市民自ら制作した芸術作品を募集し、市民美術展を実施。</p> <p>洋画、日本画、写真、書、工芸の5部門ごとに市長賞、優秀賞、奨励賞、佳作を選考し、表彰する。</p>	<p>■第52回市民美術展開催■</p> <p>市民自ら制作した芸術作品を募集し、市民美術展を実施。</p> <p>洋画、日本画、写真、書、工芸の5部門ごとに市長賞、優秀賞、奨励賞、佳作を選考し、表彰する。</p>
	達成度	1	計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	2,433	2,293
	国・県支出金		
	地方債		
	その他	2,433	2,293
	一般財源	0	0
歳入合計		2,433	2,293

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出品数、来場者が減少傾向。</li> <li>・出品者が高齢化。</li> <li>・初出品者が少ない。</li> <li>・出品資格が認知されていない。</li> </ul>	方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出品に、美術部、美術教室への所属不要である旨の周知</li> <li>・高校、大学等の美術部への情報提供、出品呼びかけ</li> <li>・美術教室等へ所属していない市民への情報提供</li> <li>・若者が出品しやすい新しい部門の設置を検討</li> </ul>
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月	作品募集		
	9月	市民美術展開催・表彰式		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	355		
委託料	1,938		
事業費計		2,293	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部スポーツ課	市営体育施設改修費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市営スポーツ施設の安全性と利便性の向上を図り、スポーツを起点としたまちづくりを推進する。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）	市営スポーツ施設年間利用者数(人)	1,050,000	1,270,000	1,300,000	1,300,000
	老朽化が進む市営体育施設の改修・修繕を行い、利用者の安全確保及び施設の利便性向上を図る。					

事業概要	(数値目標の目標年度) 項目名 市営スポーツ施設年間利用者数：2029(R11)年度
	老朽化が進む市営体育施設について、利用者の安全確保及び施設の利便性向上を図るうえで、優先度の高い改修・修繕から順次実施する。

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<b>【主な事業】</b> ・秋鹿なぎさ公園空調設備更新工事 ・鹿島総合体育館空調配管更新工事 ・鹿島武道館屋根改修工事 ・穴道B&G海洋センター中央監視装置更新工事	・鹿島総合体育館中央監視装置更新工事 ・八束体育館屋根改修工事 ・穴道B&G海洋センター自動水質監視装置更新工事 ・島根スポーツ広場フェンス改修工事	
	達成度		
	3	計画目標に向けて進捗はやや遅れている	

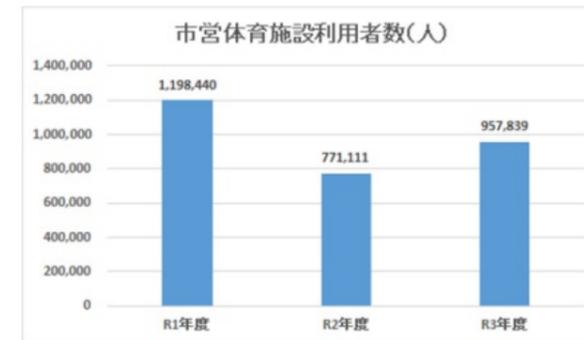
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		185,193	179,106
財源内訳	国・県支出金	0	0
	地方債	65,600	147,300
	その他	93,466	12,036
	一般財源	26,127	19,770
歳入合計		185,193	179,106

課題	老朽化が著しい施設が多く、施設の突発的な故障等への対応に苦慮している。	方向性	施設の改修・修繕については、指定管理者へのヒアリングや現地調査により、利用者の安全確保や施設の利便性向上に向け、優先度の高いものから順次実施する。
----	-------------------------------------	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	スポーツが松江の存在感を高めた
	主要施策	体育施設整備事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	施設の稼働状況などを勘案し、順次実施する。		

本事業に関する主要データ



年度	利用者数	前年度比較	主な前年度増減理由
R1	1,198,440	△ 21,771	新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響による減
R2	771,111	△ 427,329	新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響による減
R3	957,839	186,728	新型コロナウイルス感染症に関連した施設の利用制限を行わなかったことによる増

屋内スポーツ			屋外スポーツ						
体育館	武道館	プール	野球	テニス	陸上	補助競技場	多目的広場	グラウンドゴルフ等	艇庫
14	2	2	8	8	1	1	15	3	2
56									

節名称	金額	節名称	金額
需用費	6,918		
役務費	100		
委託料	3,837		
工事請負費	165,581		
備品購入費	1,670		
補償補填及び賠償金	1,000		
事業費計		179,106	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部スポーツ課	松江総合運動公園再整備事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市営スポーツ施設の安全性と利便性の向上を図り、スポーツを起点としたまちづくりを推進する。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 整備から約40年が経過し、施設の老朽化が進んでいる松江総合運動公園のスポーツ施設について、安全性と利便性の向上を図るために再整備を行う。	市営スポーツ施設年間利用者数（人）	1,050,000	1,270,000	1,300,000	1,300,000
		総合運動公園体育施設年間利用者数（人）※	209,300	265,000	280,000	280,000

事業概要	(数値目標の目標年度) 項目名 市営スポーツ施設年間利用者数：2029(R11)年度 項目名 総合運動公園体育施設年間利用者数：2029(R11)年度
	松江市の屋外スポーツの拠点施設である松江総合運動公園は、昭和50年代に整備してから約40年が経過し、老朽化が進んでいることから、施設の安全性と利便性の向上を図り、スポーツ施設の安全性と利便性の向上を図り、市民の健康づくりや交流の場として利用促進を図るため、国の支援制度を活用し再整備を行う。

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	・市営陸上競技場メインスタンド防水対策工事 ・こどもスポーツ広場照明制御盤更新、照明LED化工事 ・経済効果調査分析業務委託	・市営野球場メインスタンド防水対策設計、工事 ・市営庭球場東コートクラブハウス改修設計	・市営庭球場東コートクラブハウス改修工事
	達成度 3   計画目標に向けて進捗はやや遅れている		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	67,467	39,794
	国・県支出金	25,230	18,400
	地方債	37,000	19,200
	その他	0	0
	一般財源	5,237	2,194
歳入合計		67,467	39,794

課題	・2030年に島根県で国民スポーツ大会が開催されることとなった。式典会場は県立浜山公園陸上競技場に決定したが、松江総合運動公園内のスポーツ施設も競技会場として利用が予定されており、令和6年度に実施される中央競技団体視察を踏まえた改修計画の検討を要する。	方向性	・国民スポーツ大会の競技会場が決定されたことから、令和6年度に実施される中央競技団体視察において指摘された事項について、有利な財源が活用出来る期間に整備を行う。 ・国民スポーツ大会の競技会場とならない施設については、利用者ニーズを踏まえ事業費の平準化を図りながら整備を行う。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	スポーツが松江の存在感を高めた
	主要施策	体育施設整備事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月～7月	市営庭球場東コートクラブハウス改修設計入札、契約手続き等	11月～3月	市営野球場メインスタンド防水対策工事
	8月～3月	市営庭球場東コートクラブハウス改修設計		
	5月～8月	市営野球場メインスタンド防水対策設計		
	9月～10月	市営野球場メインスタンド防水対策工事入札、契約手続き等		

本事業に関する主要データ

第1期松江総合運動公園周辺地区都市構造再編集集中支援事業(島根県松江市) R5.1時点 計画変更協議中のもの

◆事業概要:本地区は、松江市市街地の南部に位置し、土地区画整理事業による良好な住宅地が整備されるとともに、商業施設や教育施設などの都市機能が集積し、生活利便性が高い。地区内に立地する松江総合運動公園は、施設の老朽化による魅力低下を招いており、計画的な再整備が必要である。また、当公園は指定緊急避難場所となっており、市民の防災意識の高まりからも、避難場所としての機能を向上させ、市民の安全・安心を確保することが急務である。このことから、当公園の施設の改修や周辺道路の改良を計画的に進め、スポーツ機能や防災機能を高めることにより、スポーツを通じた賑わいのある、安全・安心な魅力あるまちづくりを進める。

◆事業主体:松江市 ◆面積:75.5ha ◆交付期間:令和2年度～令和6年度 立地適正化計画公表時期:平成31年3月

◆全体事業費:1,610百万円 ◆交付対象事業費:1,610百万円(国費:804.7百万円) ◆国費率:50%

- 基幹事業:公園(松江総合運動公園) 庭球場:コート照明制御盤更新、東コートクラブハウス改修 R5年度事業内容:東コートクラブハウス改修設計 事業費:10,150千円
- 基幹事業:公園(松江総合運動公園) 野球場:トイレ洋式化、スコアボード更新、照明制御盤更新 R5年度事業内容:メインスタンド防水対策設計、工事 事業費:29,635千円
- 基幹事業:公園(松江総合運動公園) 陸上競技場:走路等改修、メインスタンド防水対策トイレ洋式化、サッカーゴール更新
- 基幹事業:公園(松江総合運動公園) 補助競技場:フットサル・サッカー場人工芝張替 照明制御盤更新
- 基幹事業:公園(松江総合運動公園) こどもスポーツ広場: 照明制御盤更新、照明LED化
- 提案事業:事業活用調査 来訪者の属性・行動分析を行うためのアンケート調査

○:R5年度事業箇所

R5節別当初予算額内訳(千円)			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	10,673		
工事請負費	29,121		
事業費計			39,794



令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部スポーツ課	スポーツコミッション設立準備事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	スポーツを通じて交流人口の拡大を図り、観光振興と結びつけることで地域経済の活性化を図るとともに、市民がスポーツに親しむ機会を創出し健康増進や競技人口の裾野拡大を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）	スポーツコミッションの活動（活動中=1）	0	0	1	1
	スポーツ関係団体・観光事業者・経済団体・市などの官民組織が連携したスポーツコミッションの活動を通じて、スポーツによる地域活性化を図る。					

事業概要	<p>スポーツ関係団体・観光事業者・経済団体・市などの官民組織が連携した常設の組織であるスポーツコミッションを設立し、年間を通じてスポーツによる地域活性化に取り組む。</p> <p>主な取組と活動内容の例</p> <p>①情報発信・イベント等の開催支援 松江スポーツ総合サイトの開設、開催支援ワンストップ窓口の設置</p> <p>②地域経済活性化 マラソン大会の充実による観光振興</p> <p>③スポーツ振興・健康増進 スポーツイベントと連携した健康づくり・スポーツ普及事業</p>
------	--

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	・先進地視察や、スポーツイベント参加者へのアンケート調査、観光・文化施設と連携した実証実験を行い、スポーツコミッション設立後の取組について検討を行った。	・実証実験を継続し、観光や消費に関するデータを蓄積するほか、スポーツイベントの参加者や観光事業者などのニーズをアンケートなどを通じて把握し、スポーツコミッションの事業計画や収支モデルを検討する。	・スポーツコミッションを設立（設立総会を開催）し、スポーツを通じた地域活性化に向けた各種活動を開始する。
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4 決算見込	R5 当初予算
事業費			4,226
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	4,226
歳入合計		0	4,226

課題	スポーツコミッションで取り組む活動・事業を具体的に整理し、事務局を含めた運営体制の検討を進める必要がある。	方向性	令和6年度中のスポーツコミッション設立を目指し、設立後の具体的な取組および組織体制について、実証実験で得られた成果をもとに、関係団体の意見を聴取しながら検討を進める。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	スポーツが松江の存在感を高めた
	主要施策	地域スポーツコミッション推進事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～	先進地視察、先行事例調査、市場調査	令和6年度	スポーツコミッション設立
	4月～	各種スポーツイベントと連携した実証実験		
	9月～3月	試行事業（ボールゲームフェスタ）開催 事業計画・収支モデル検討		

**本事業に関する主要データ**

**実証実験の事例**

スポーツイベントの参加者・来場者に対して、アンケート調査や観光文化施設の訪問動向調査を実施した。

フットサル国際親善試合（令和4年9月15日開催）

国宝松江城マラソン2022（令和4年12月4日開催）






R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	1,814	委託料	500
職員手当等	371	使用料及び賃借料	193
共済費	345		
報償費	105		
旅費	473		
需用費	282		
役務費	143		
事業費計		4,226	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部スポーツ課	中海スポーツパーク整備事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市営スポーツ施設の安全性と利便性の向上を図り、スポーツを起点としたまちづくりを推進する。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）	市営スポーツ施設年間利用者数（人）	1,050,000	1,270,000	1,300,000	1,300,000
	人工芝を備えた多目的広場を整備し、市民のスポーツ振興や健康づくりを推進するとともに中海周辺地域の活性化を図る。					60,000

事業概要	(数値目標の目標年度) 項目名 市営スポーツ施設年間利用者数：2029(R11)年度
	【概要】 人工芝グラウンド：1面、クレーグラウンド：1面 クラブハウス：1棟、トイレ1棟、ナイター照明：4基 駐車場：200台

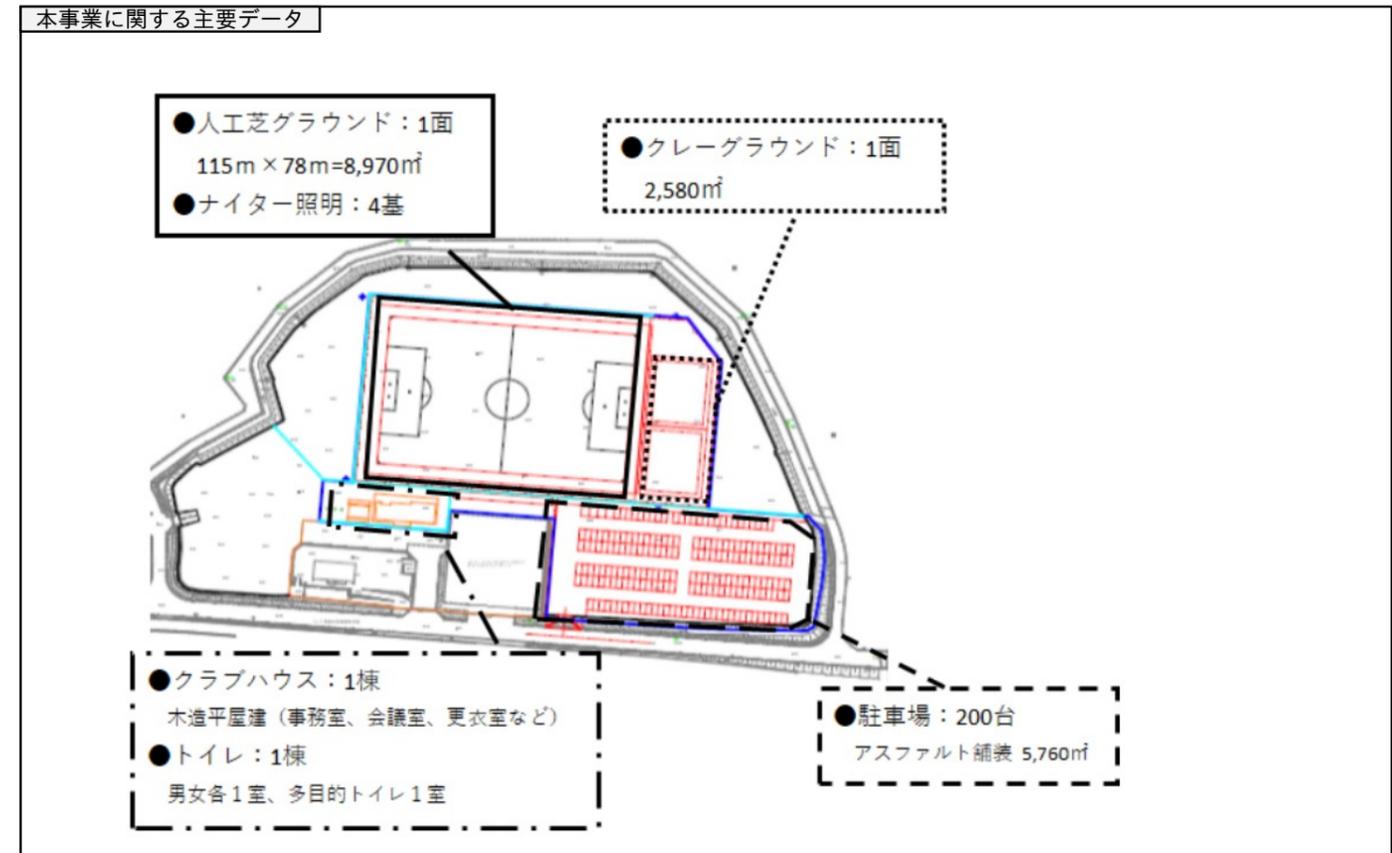
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラブハウス建築設計</li> <li>トイレ建築設計</li> <li>土木設計</li> <li>地盤調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>敷地造成等工事</li> <li>照明設備設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多目的広場整備工事</li> <li>駐車場整備工事</li> <li>照明設備設置工事</li> <li>クラブハウス建築工事</li> <li>トイレ建築工事</li> </ul>
	達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	27,909	188,510
	国・県支出金	15,763	125,673
	地方債	9,100	58,900
	その他		0
	一般財源	3,046	3,937
歳入合計		27,909	188,510

課題	現在、多目的に利用できる芝生のサッカーグラウンドは、市営補助競技場と北公園多目的広場の2ヶ所に限られ、休日・夜間に利用が集中し、施設予約が取りにくくなっており、本市のスポーツ振興を図るうえで市民ニーズに応えられていない。	方向性	幅広い年齢層の市民のが、安全かつ快適に様々なスポーツに親しむことができる多目的広場を整備し、市民のスポーツ振興や健康づくりを推進する。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	スポーツが松江の存在感を高めた
	主要施策	スポーツ振興の拠点づくり事業（スポーツパーク整備）

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月～8月	敷地造成工事入札、契約手続き等		
	7月～8月	照明設備設計業務委託入札、契約手続き等		
	9月～3月	敷地造成等工事		
	9月～3月	照明設備設計		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	14		
需用費	10		
委託料	3,496		
使用料及び賃借料	20		
工事請負費	184,970		
事業費計		188,510	